

第 1 回 静岡市立の高等学校の在り方検討委員会

日時： 令和7年4月28日(月) 9:30～11:30

場所： 静岡市立清水桜が丘高校 第1会議室

参加者： 検討委員会の委員 5名+(オブザーバー5名)

教育委員会:教育長、教育局長、教育局次長、学校づくり推進監
教育総務課長、教育総務課参事、高校担当

次 第

- 1 開会 (傍聴の確認)
- 2 教育長挨拶
- 3 事務局等紹介(教育長、教育局長、教育局次長、学校づくり推進監、教育総務課長)
- 4 委嘱状交付 (手元にセット)
- 5 委員自己紹介
- 6 オブザーバー自己紹介
- 7 委員長の選出
【以後、委員長による議事進行】
- 8 検討委員会の趣旨説明 【資料1】
 - ・検討委員会の設置の根拠(附属機関設置に関する規則)
 - ・概要、検討する事項、・開催回数 ・年間スケジュール 等
 - ・在り方検討の視点
- 9 市立2高校の現状と各々の取り組みについて 【資料2】
 - (1)【情報共有】市立2高校の紹介およびスクールミッションおよびスクールポリシーの基づく取り組みについて 【別資料】
 - (2)【協議】 上記(1)に関する協議・意見交換
- 10 「新しい学校の姿」、「学校の規模」を検討する上での参考資料説明
 - (1)検討の視点①(小中学生・市民の視点)に関する資料 【資料3】
 - (2)検討の視点②(地域社会・地域経済の視点)に関する資料 【資料4】
 - (3)検討の視点③(静岡市立の学校としての視点)に関する資料 【資料5】
 - (4)検討の視点④(環境変化への対応という視点)に関する資料 【資料6】
- 11 協議・意見交換 (上記 10 の内容を受けて)
- 12 【事務連絡】 次回の検討内容の予告
※新しい高校の姿のイメージ共有 【資料7】
- 13 閉会

静岡市立の高等学校の在り方検討委員会 名簿

【委員】

氏 名	現 職	該当枠
さの ふみこ 佐野 文子	静岡県総合教育センター 教育主任 (静岡県の公立高校の元校長)	学校経営に関し優れた 識見を有する者
しむら たけかず 志村 剛和	常葉大学 法人本部 指導主事 (静岡県の公立高校の元校長)	学校経営に関し優れた 識見を有する者
たかはた さち 高畑 幸	静岡県立大学 教授	学識経験を有する者
みぞかみ しんいち 溝上 慎一	学校法人桐蔭学園 理事長 桐蔭横浜大学 教授	学識経験を有する者
むらやま いさお 村山 功	静岡大学 教授	学識経験を有する者

(五十音順、敬称略)

以上 5名

【オブザーバー】

氏 名	役 職
おがい やすゆき 小粥 康之	静岡県教育委員会 高校教育課 学校づくり推進室長
きたがわ かずひこ 北川 和彦	静岡市立城内中学校 校長
すずき たかあき 鈴木 孝明	静岡市立清水桜が丘高等学校 校長
にいのみ てるお 新家 輝男	静岡市立高等学校 校長
わたなべ ひろし 渡邊 宏	静岡県企画部 総合教育課 課長

(五十音順、敬称略)

第1回 静岡市立の高等学校の在り方検討委員会 席次表

(敬称略)		委員長		アンプ	
赤川 弥生 教育総務課参事		佐野 文子 委員		高畑 幸 委員	
佐藤 敬子 管理主事					
田中 一弘 管理主事		志村 剛和 委員		溝上 慎一 委員	
管理係				村山 功 委員	
オブザーバー		教育局		教育局	
小粥 康之 静岡県教育委員会 高校教育課 学校づくり推進室長		中村 百見 教育長		西島 弘道 次長	
オブザーバー		教育局		教育局	
鈴木 孝明 清水桜が丘高校 校長		阿部 薫夫 教育総務課長		前田 泰則 学校教育課 課長補佐	
オブザーバー		PT		PT	
新家 輝男 静岡市立高校 校長		浦田 貴史 総合政策局 企画課 主査		入口 強志 教育センター 参事兼課長補佐	
管理係		PT		PT	
		横田 幸也 静岡市立高校 主任主事		古賀 左和野 清水桜が丘高校 事務長	
		加納 多佳子 静岡市立高校 事務長		後藤 洋正 清水桜が丘高校 主査	
傍聴		傍聴		傍聴	
傍聴		傍聴		傍聴	
傍聴		傍聴		傍聴	
報道		報道		傍聴	

静岡市立の高等学校の在り方に関する検討に係る臨時的事務を処理するための附属機関
に関する細目を定める規則

(趣旨)

第1条 この規則は、静岡市附属機関設置条例（平成30年静岡市条例第17号）第2条第4項の規定に基づき、静岡市立の高等学校の在り方に関する検討に係る臨時的事務を処理するための附属機関（以下「附属機関」という。）に関し必要な細目を定めるものとする。

(名称)

第2条 附属機関の名称は、静岡市立の高等学校の在り方検討委員会とする。

(所掌事務)

第3条 附属機関の所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 静岡市教育委員会（以下「教育委員会」という。）の諮問に応じ、次代に必要となる資質の向上及び能力の育成並びに高等学校の枠組みを超えた教育課程の編成について調査審議すること。
- (2) 静岡市立の高等学校の在り方について教育委員会に意見を述べること。

(組織)

第4条 附属機関は、委員5人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、教育委員会が委嘱する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 学校経営に関し優れた識見を有する者

(委員の任期等)

第5条 委員の任期は、委嘱の日から令和8年3月31日までとする。

2 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。

(委員長)

第6条 附属機関に委員長を置く。

- 2 委員長は、委員の互選によりこれを定める。
- 3 委員長は、附属機関の会務を総理し、附属機関を代表する。
- 4 委員長は、附属機関の会議の議長となる。
- 5 委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、あらかじめ委員長が指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第7条 附属機関の会議は、委員長が招集する。

- 2 附属機関は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。
- 3 附属機関の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。
- 4 附属機関は、必要があると認めるときは、附属機関の会議に関係者の出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、令和7年4月1日から施行する。

(この規則の失効)

- 2 この規則は、令和8年3月31日限り、その効力を失う。

附属機関等の会議の公開に関する要領

1 趣 旨

この要領は、市民の意見を市政に反映する機会を拡充し、市政に対する市民の理解と関心を深めるとともに、市民参画の推進を図るため、附属機関等（静岡市における附属機関等の設置及び運営に関する指針（平成 19 年 4 月 1 日施行）に規定する附属機関等をいう。以下同じ。）の会議の公開について必要な事項を定めるものとする。

2 会議の公開の基準

- (1) 会議は、原則として公開する。ただし、当該会議が静岡市情報公開条例（平成 15 年静岡市条例第 4 号。以下「条例」という。）第 7 条各号に規定する非公開情報を含む内容について審議等を行う場合は、会議の全部又は一部を公開しない。
- (2) 前号ただし書に規定する内容について審議等を行う場合であっても、当該内容が、条例第 9 条に該当すると当該附属機関等が認めるときは、当該会議を公開することができる。

3 公開・非公開の決定

- (1) 会議の公開又は非公開の決定は、前項に定める会議の公開の基準（以下「公開基準」という。）に基づき、当該附属機関等がその会議において行うものとする。
- (2) 附属機関等は、会議の全部又は一部を公開しないことを決定した場合は、その理由を明らかにしなければならない。

4 公開の方法

- (1) 会議の公開は、会議の傍聴を希望する者に当該会議の傍聴を認めること等の方法により行うものとする。
- (2) 会議の傍聴を認める場合は、傍聴定員をあらかじめ定め、当該会議の会場に傍聴席を設けるものとする。
- (3) その他会議の傍聴について必要な事項は、当該附属機関等が定めるものとする。

5 会議開催の周知

- (1) 附属機関等の所管課は、会議の開催に当たっては、公開・非公開の別にかかわらず、当該会議開催日の 3 週間前までに、次の事項を静岡市附属機関等管理システム（以下「管理システム」という。）に登録し、市のホームページ等に掲示するとともに、必要に応じて報道機関に資料を提供するものとする。ただし、会議を緊急に開催する必要があるときは、この限りでない。

ア 会議の名称

- イ 開催日時
- ウ 開催場所
- エ 議題
- オ 会議の公開又は非公開の別
- カ 会議の全部又は一部を非公開とする場合においては、その理由
- キ 傍聴者の定員及び希望者が定員を超えた場合の処置
- ク 傍聴手続
- ケ その他必要な事項

(2) 各区役所地域総務課は、前号の規定により管理システムに登録された会議の開催情報を市政情報コーナー等に定期的に掲示するものとする。

6 会議録の作成

- (1) 附属機関等は、会議の公開・非公開の別にかかわらず、会議終了後、速やかに別記様式により、会議録を作成しなければならない。
- (2) 会議録の作成に当たっては、特に必要があると認められる場合を除き、要約を記録するものとする。
- (3) 発言者名は、特別な理由がある場合を除き、明確に記録するものとする。
- (4) 会議録の内容について会長や出席委員等の確認をとり、保管用の会議録には、会長等内容を確認した者の署名をもらうものとする。

7 会議録等の公表

- (1) 会議録及び会議資料（以下「会議録等」という。）は、作成後速やかに公表するものとする。ただし、非公開とした会議の会議録等のうち、会議終了後においてもなお条例第7条各号の規定に該当すると認められる事項が記載された部分については、この限りでない。
- (2) 会議録等の公表は、所管課窓口及び各区役所市政情報コーナーへの当該会議録等の設置並びに市のホームページへの掲載等により行うものとする。そのため、当該附属機関等の所管課は、会議録等を各区役所市政情報コーナーに送付するとともに、会議録の電子データを総務局総務課に送信するものとする。
- (3) 前号の公表のうち、市政情報コーナーへの設置及び市のホームページへの掲載の期間は、公表を開始した日の属する年度の翌年度の3月31日までとする。ただし、所管課長が期間を延長する必要があると認める場合には、総務局総務課と協議するものとする。

8 特別の定めのある場合の取扱い

附属機関等の会議の公開等について法令又は市の条例、規則等に特別の定めがあるときは、その定めるところによるものとする。

附 則

この要領は、平成19年4月1日以降に開催される附属機関等の会議について適用

する。

附 則

この要領は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要領は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要領は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要領は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要領は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要領は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

別記（６会議録の作成関係）

平成〇〇年度第〇〇回 〇〇審議会会議録

- [illegible]

【資料1】 検討委員会の趣旨説明

- ・静岡市立の2高校の在り方検討の背景・理由
- ・将来の静岡市立の高等学校の存在意義（市の考え）
- ・在り方を検討する際の4つの視点
- ・「検討委員会での議論」と「庁内検討」の関係
- ・1年間の検討スケジュール
- ・最終的な意見集約(市に提案する)のイメージ



静岡市立高等学校

中等教育への進学希望者の急増を背景に地域からの要請により、静岡市立第一中学校として昭和14年に設置が認可され創立した。昭和15年に開校。(参考:市高の創立60周年記念誌)

H23年度 科学探究科新設
※静岡市における理数科教育推進計画(H21)

県立高校のみでは、“高校で学びたい”という市民の要望に応えることができず、そのため市立の高校が設置された。

清水商業高等学校

大正11年静岡県清見潟商業学校(6町村組合立)として開校。後に市制施行により清水市立となり、平成15年には静岡市立になる。

(参考:H19年度清水商業学校要覧の沿革)

戦後廃校の危機があったが、「貿易港清水には商業高校が絶対に必要」との地元意見に世論が味方して存続することになった。



清水桜が丘高等学校

平成25年

静岡市立清水商業高等学校と静岡県立庵原高等学校が統合し開校
(普通科と商業科)

※H25には、静岡市立商業高等学校と静岡県立静岡南高等学校が統合し、静岡県立駿河総合高校が開校

静岡県立庵原高等学校

昭和54年第2次高校生急増対策「高校新設後期計画」により設置が決定し、昭和56年に開校

H19年の静岡市高等学校基本計画の【基本方針】
市教委及び市立3高の使命を明らかにし、今後の取り組むべき課題に対して基本となる方針を示すものとして、以下のⅠ～Ⅲを掲げている。

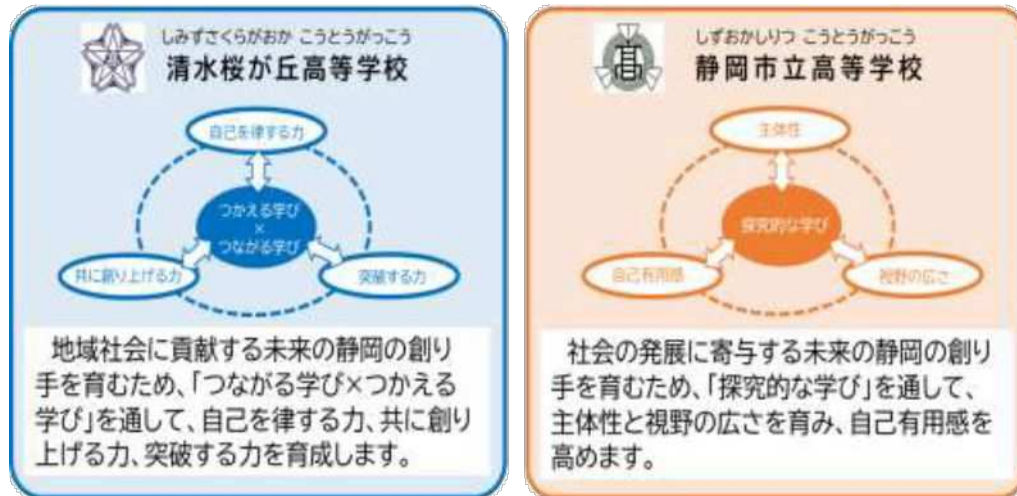
- Ⅰ 社会生活との関わりの中で、一人一人の自己実現を図ることに資する高等学校をつくる。
- Ⅱ 静岡市を支え、ひいては静岡市を基盤に世界にはばたく人材を育成する高等学校をつくる。
- Ⅲ 静岡市にふさわしい、活気あふれる高等学校を作る。

【特色化・魅力化委員会(令和5年度)】

時代の潮流(新しい学びへの対応、2高校を取り巻く諸環境の変化等)を受け、産学官民の力で2高校の特色化・魅力化を推し進めるために設置。

特色化・魅力化の大枠として、スクール・ミッションの再定義とスクール・ポリシーを策定。

未来の静岡の創り手を育む 静岡市立の高等学校 スクール・ミッション

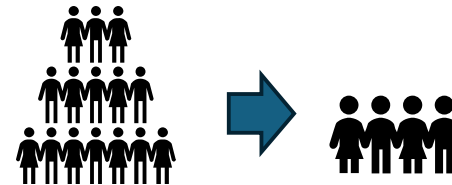


【2校における特色化・魅力化の実践(令和6年度)】

2高校は、スクール・ミッション、スクール・ポリシーを要として、特色ある、魅力ある学校づくりを推進

一方で

① 人口減少



静岡市の人口推計(R6.9発表)では、20年後には、市内中学3年生の人口は約4割減

②静岡市立の高等学校の志願状況の課題

ここ数年の課題として、志願倍率が定員割れもしくはそれに近い状況になっている

加えて

③私立高校授業無償化(R8?)

④県内にとどまらず、県外における高校再編のニュースなど

市立の高等学校が設立した時代は、

需要 > 供給

現在は、需給関係が逆転！

市が公立高校を持つ意味を含め、市立の高等学校の在り方を検討を始めることにした。

【県立高校】(2440)

<普通科> (1400)

- ・静岡(320) ・静岡東(280) ・静岡城北(200)
- ・静岡西(80) ・清水東(240) ・清水西(160)
- ・清水南(中高一貫)(120)

【市立高校】(560)

<普通科> (400)

- ・静岡市立(280)
- ・清水桜が丘(120)

<科学探究科>

- ・静岡市立(40)

<商業>

- ・清水桜が丘(120)



【私立高校】(3270)

<普通科> (2650)

- ・清水国際(180) ・静岡サレジオ※(170)
- ・東海大翔洋※(360) ・静岡大成※(200)
- ・静岡英和※(120) ・城南静岡※(40)
- ・静岡女子(80) ・常葉※(240)
- ・常葉橘※(340) ・静岡北※(310)
- ・静岡学園※(360)
- ・静岡雙葉◎(150) ・聖光学院◎(100)

※中等部併設 ◎高校入試なしの中高一貫校

<理数科> 静岡北※(90) <英数科> 常葉橘※(60)

<国際・グローバル系> 静岡北※(40)

<専門学科> (430)

- ・清水国際(ITビジネス)(70) ・城南静岡(ICT)※(240)
- ・静岡女子(家政・商業・福祉)(120)

<理数科> 清水東(40) <国際・グローバル系> 静岡城北(40)

<芸術科> 清水南(中高一貫)(40)

<総合学科>

- ・駿河総合(200)

<専門学科> (720)

- ・静岡商業(200) ・科学技術(320)
- ・静岡農業(200)

市立の高校は、県立にもない、私立高校にもない学びの場であることが望ましい。

()は募集定員



4つの視点で、市立の高等学校の新しい学校の姿を検討することが本検討委員会の目的です。

- ・市内の小中学校との連携。
- ・静岡市教育大綱のリーディングスクールとしての学校
- ・市内の小中学校へ好影響を与える学校

③静岡市立の学校としての視点

①小中学生や市民の視点

- ・小中学生やその保護者がどんな学校で学びたいと思っているか
- ・市民から愛される学校であるか
- ・安定した人気(志願状況)が維持できるか。

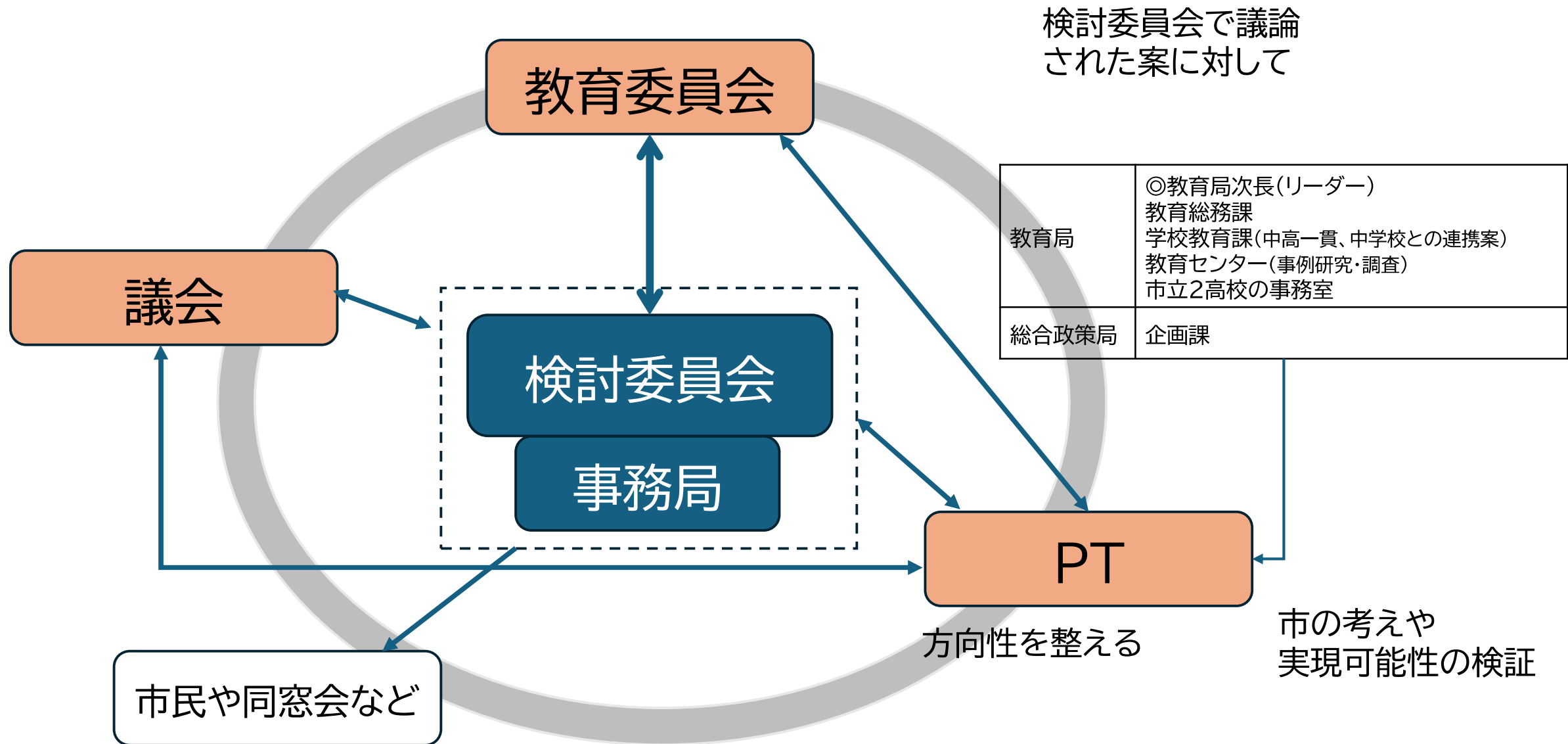
②地域社会・地域経済の視点

新しい学校の姿
学校の規模

④環境変化への対応という視点

- ・15歳人口減少の加速化。
- ・私立高校授業料無償化による公立高校への逆風
- ・県立高校の再編
- ・財政状況

- ・未来の静岡の創り手を育む教育
- ・地元就職やUターン率の向上につながる学び
- ・地域社会が求める人材像を育てる教育
- ・地域社会や地元企業と連携した学びの充実



1年間の検討スケジュール

1-7

回	時期	内容(予定)
第1回	4/28 金	(1)委員委嘱 (2)委員等の紹介 (3)会長の選出 (4)共有【検討委員会の趣旨説明】 (5)共有・協議【市立2高校の現状と各々の取り組みについて】 (6)共有【「新しい学校の姿」、「学校の規模」を検討する上での参考資料説明】 (7)議事・意見交換【(6)を受けて】 (8)事務連絡(類型の提示による新しい学校の姿イメージ共有。次回以降の検討事項等)
第2回	6月中旬	(1)共有【類型の学校の姿 事例】 (2)議事【検討の視点①(小中学生・市民の視点)における現状と課題】 (3)議事【検討の視点②(地域社会・地域経済の視点)における現状と課題】 (4)議事【検討の視点③(市の学校教育としての視点)における現状と課題】
第3回	9月中旬	(1)議事【検討の視点④(環境変化への対応という視点)における現状と課題】 (2)議事【「新しい学校の姿について」、「学校の規模について」(その1)】
第4回	11月上旬	(1)議事【「新しい学校の姿について」、「学校の規模について」(その2)】 (2)議事【意見集約の素案についての協議】
第5回	1月下旬	意見集約についての協議

はじめに

1 高等学校を取り巻く環境

2 市立2高校の現状と課題

(1)スクールミッション・スクールポリシー

(2)各校の取り組みについて

第1回目

3 市立の高等学校の在り方検討の視点

(1)小中学生や市民から愛され期待される学校

(2)地域社会から求められ、期待される学校

(3)県立ではない静岡市立だからこそ実現できる学校

(4)環境の変化に対応し、持続可能な発展が期待できる学校

4 新しい学校の姿・学校の規模

第2回目

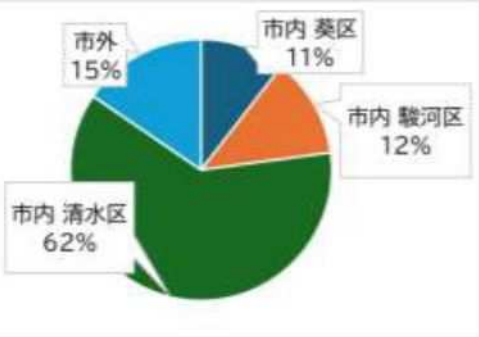
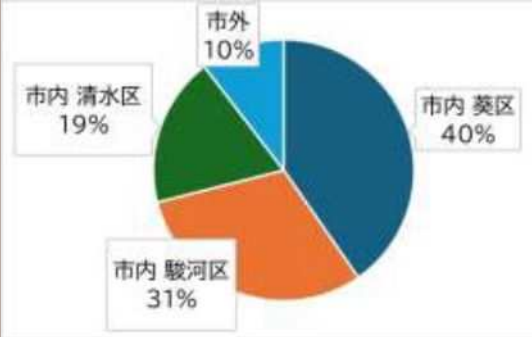
第3回目

第4回目

【資料2】 市立2高校の現状と 各々の取り組みについて

- ・市立の高校に関する諸情報
- ・2高校の魅力と課題
- ・スクールミッション・スクールポリシー
- ・スクール・ミッション、スクール・ポリシーに基づく各校の取組

令和6年度 学校要覧(各校)より

校 名	 清水桜が丘高校	 静岡市立高校
全校生徒数 (男女内訳)	686人 (男 360人/女 326人)	950人 (男 501人/女 499人)
設置学科 (募集人数)	普通科(120人) / 商業科(120人)	普通科(280人) / 科学探究科(40人)
生徒居住地域	 約60%が 清水区 の生徒	 約70%が 葵・駿河区 の生徒
部活動実績 (R4-6の3年間)	【全国】ハンドボール、バレーボール、他 【東海】ソフトテニス、弓道、吹奏楽 他	【全国】硬式テニス、体操競技、水泳、陸上競技、 マンドリン 他 【東海】ソフトテニス、弓道、吹奏楽 他
進路状況	・普の約70%、商の半数が4年制大学へ 進学（ほとんどが私立大学） ・商の約30%が就職	・約90%が4年制大学へ進学 ・約50%が国公立大学へ進学 (普・科ともに)



清水桜が丘高等学校

1 カリキュラム・進路

- ・ 普商の2学科編成により、多様な科目が存在
- ・ キャリアデザインの授業を週2時間確保し、進路選択に活用。
- ・ 集中履修の導入：学年間で足並みを揃えて実施し、学習効果が高い。
- ・ 普通科：国公立大学への合格者も輩出
- ・ 商業科：指定校推薦や就職先が充実
- ・ 多様な進路先：国公立大学、私立大学、就職、公務員など。

2 学校行事・課外活動

- ・ 海外修学旅行（※コロナ前は台湾を訪問）。
- ・ 充実した学校行事が多数あり、生徒生活が豊か。

3 部活動

- ・ 強化部活の存在：サッカー、野球、男女バレー、男女ハンド、陸上、吹奏楽など。
- ・ 全国レベルの実績とポテンシャルがある。
- ・ 部活動が学校の大きな魅力となっている。（文化部も運動部も活発）

4 環境・設備

- ・ 校舎が比較的新しい（平成25年に新築）。
- ・ 平成25年の開校当初からICT環境が整備（iPad）されており、ICTを用いた学習が盛ん（グループワークや伴走型授業）
- ・ 体育施設が充実：人工芝のグラウンド、体育館が2つ。
- ・ 駅近の好立地：静鉄「桜橋」駅から徒歩10分、通学しやすい。

5 教職員・地域連携の魅力

- ・ 生徒一人ひとりに対応した手厚い進路指導
- ・ 地元企業とのつながりが強く、求人も多い。
- ・ 地元企業や地域をフィールドにした学びが多い。



静岡市立高等学校

1 カリキュラム・進路

- ・ 学校設定科目の充実（Science English Communication、SS探究など）
- ・ 特色ある探究活動の実施（幅広いフィールドワーク、大学等との連携）
- ・ SSH関連の活動が活発（研究成果発表会・探究プログラム）
- ・ 科学探究科の先進的な取り組みにより、普通科の活動も活性化
- ・ 少人数での探究活動により深い学びが可能

2 学校行事・課外活動

- ・ SSH研究成果発表会を静岡市民文化会館で公開実施
- ・ 海外科学研修（アメリカ・台湾）や姉妹都市オマハとの国際交流
- ・ 生徒が主体的にかかわる学校行事の企画・実施

3 部活動

- ・ 部活動の数が多い（運動部17、文化部・同好会14）
- ・ 全国大会常連の部活あり（テニス部・マンドリン部）
- ・ ほとんどの運動部が県大会へ出場

4 環境・設備

- ・ 立地条件が良好（静岡中心街に近い）
- ・ 施設のスケールが大きい（観覧席付き体育館・視聴覚ホール・50mプール）
- ・ 自習環境が整っている（図書館や進路室を19時まで開放）

5 教職員・地域連携の魅力

- ・ 生徒一人ひとりへの手厚い個別指導・面談（課外授業や出張授業等もあり）
- ・ 職員室の雰囲気良好、教職員の協力体制も整っている
- ・ 地元の大学等との連携協定

令和5年度に、各校のプロジェクトチームで改善したいことをまとめました



清水桜が丘高等学校

1 カリキュラム・教育内容

- ・「普通科と商業科の併設」を生かした学び、教科を横断した学びを推進したい。
- ・生徒が主体的に科目選択できる教育課程を編成したい。

2 進路指導

- ・進学と就職どちらにも対応できる・生徒一人ひとりに応じた進路指導を行いたい。
- ・商業科の生徒にも一般入試でチャレンジできる体制を強化したい。
- ・商業科＝就職という中学生のイメージを変えたい。

3 学校行事等

- ・体育行事が他校と比べ多いので、目的を整理したい。
- ・全校応援を含め、時代に合った学校行事の在り方を検討したい。

4 部活動・課題活動等

- ・「生徒にとっても教員にとっても持続可能な部活動」を目指したい。
- ・中学校における部活動への加入状況等を踏まえた在り方を検討したい。

5 学校運営や体制

- ・時代の変化に即応できる、変化を恐れない組織でありたい。
- ・転入してきた先生方が成長できる場でありたい。

6 ICTや情報発信

- ・学校HPの更新を頻繁に行いたい。（まずは学校HPを作り直すところから）
- ・SNS等による情報発信に挑戦したい。



静岡市立高等学校

1 カリキュラム・教育内容

- ・科学探究科・普通科ともに、探究活動における外部連携を推進したい。
- ・土曜授業の在り方について検討したい。
- ・教科「情報」において、専任を配置する等により、情報教育を推進したい。

2 進路指導

- ・学校全体で組織的な進路指導をより一層進めたい。
- ・東京大学、早慶等の難関大学への進学者を増やしたい。（東大は過去に実績なし）

3 学校行事等

- ・行事の目的を見直し、必要に応じて精選を行いたい。

4 部活動・課題活動等

- ・「生徒にとっても教員にとっても持続可能な部活動」を目指したい。
- ・中学校における部活動への加入状況等を踏まえた在り方を検討したい。

5 学校運営や体制

- ・多忙感を感じている教員が一定数いるため、業務見直しを継続的に行いたい。
- ・「中学生に選ばれる学校」であるため、市高でこれからどんな工夫ができるかについて、検証等を行いたい。
- ・安心安全な学校生活を送るための施設管理となっているか、見直しを行いたい。

6 ICTや情報発信

- ・市高の魅力を中学生や保護者等に広く発信したい
- ・SNS等による情報発信に挑戦したい。

第4次静岡市総合計画
「世界に輝く静岡」の実現



第3期静岡市教育振興基本計画
たくましくしなやかな子どもたちを育成

未来の静岡の創り手を育む 静岡市立の高等学校 **スクール・ミッション**

令和3年1月26日中央教育審議会答申等の趣旨を踏まえ、本市では、2高校・特色化魅力化検討委員会・市教委の三者協働により、令和5年に「各校に期待する役割」を策定しました。



しみずさくらがおか こうとうがっこう
清水桜が丘高等学校



地域社会に貢献する未来の静岡の創り手を育むため、「つながる学び×つかえる学び」を通して、自己を律する力、共に創り上げる力、突破する力を育成します。



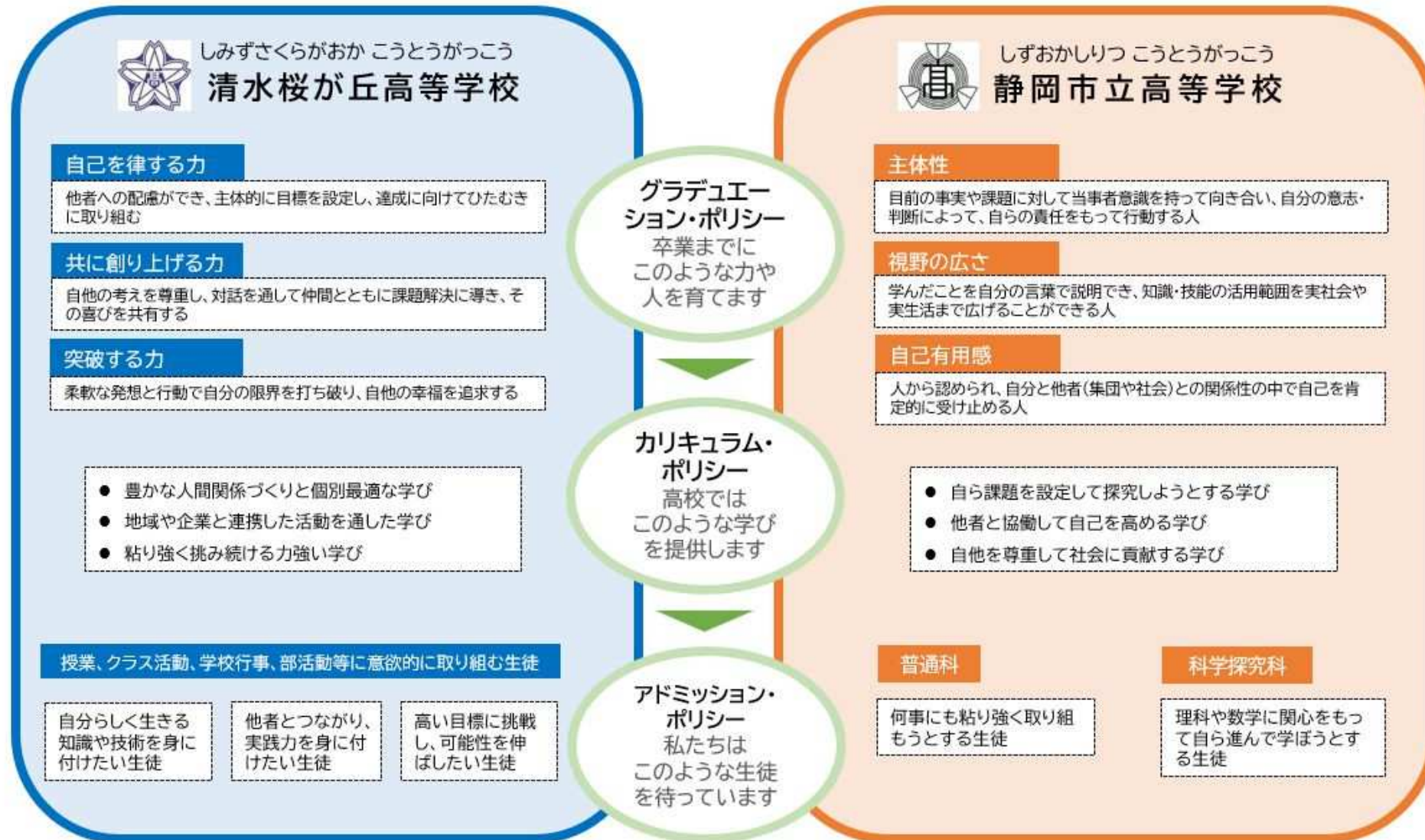
しずおかしりつ こうとうがっこう
静岡市立高等学校



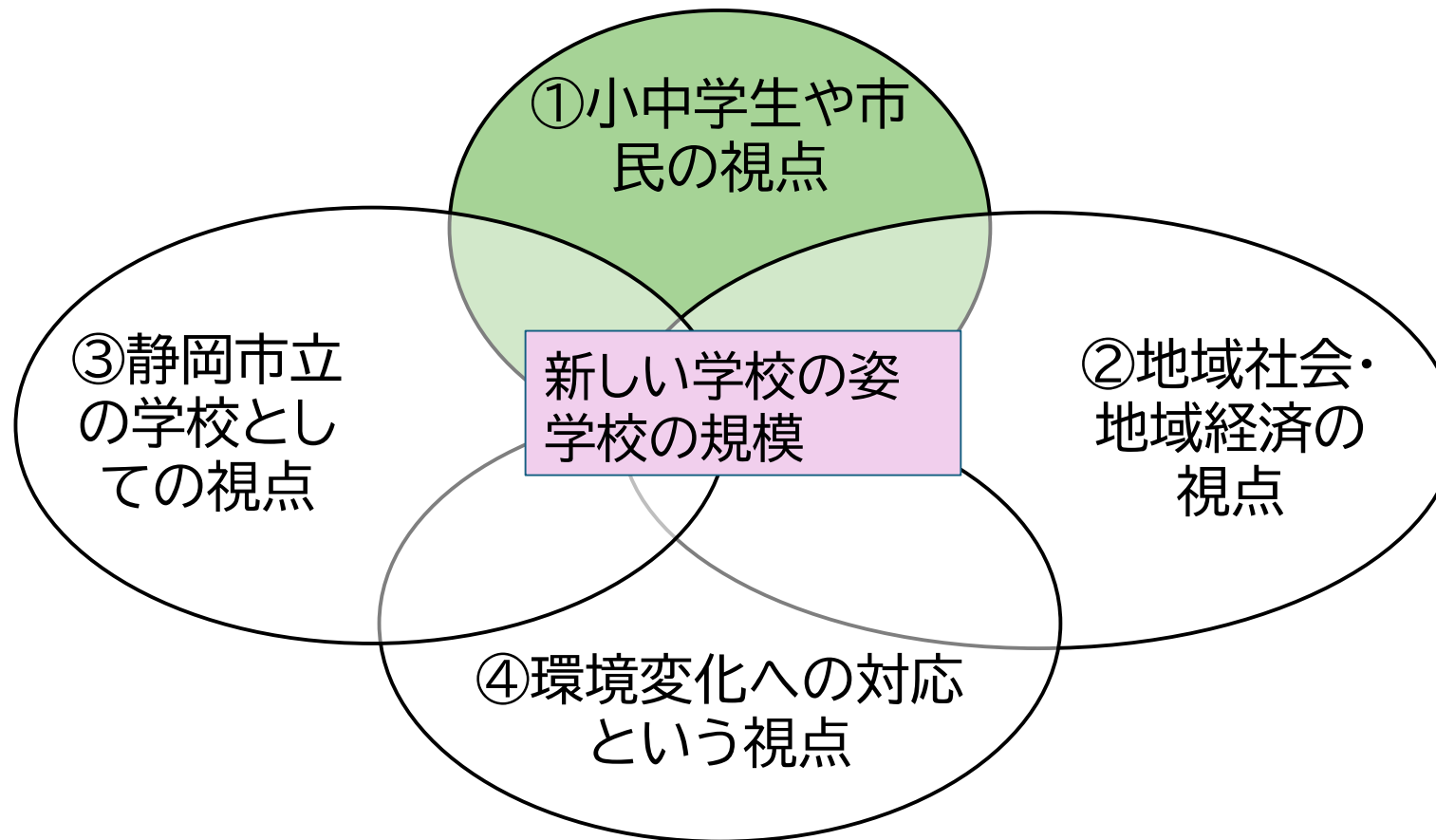
社会の発展に寄与する未来の静岡の創り手を育むため、「探究的な学び」を通して、主体性と視野の広さを育み、自己有用感を高めます。

静岡市立の高等学校 **スクール・ポリシー**

スクール・ミッションに基づき、どのような資質・能力をどのようなカリキュラムで育成するのか、どのような生徒に入学してほしいのかを示した教育活動の方針であり、スクール・ミッションと同時期(令和5年度末)に三者協働にて策定しました。



【資料3】検討の視点① (小中学生・市民の視点)に関する資料



- ・高校教育についてのアンケート結果
 - 進路希望
 - 志望校を選ぶ際に重視する項目
 - 学科選択
 - 興味ある学習内容
 - 高校で身につけたい能力
- ・志願状況(2高校、市内の公立高校)

視点① 高校教育についてのアンケート(進路希望)

Q_(中学生及び保護者)進路について現在の希望を教えてください。(1つ選択)

回答の選択肢	中学生			中学生保護者		
	葵区・駿河区 人数 (%)	清水区 人数 (%)	生徒計 人数 (%)	葵区・駿河区 人数 (%)	清水区 人数 (%)	保護者計 人数 (%)
清水区内の公立高校(全日制)を希望している	62 (4%)	222 (46%)	284 (14%)	17 (2%)	136 (50%)	153 (15%)
駿河区・葵区の公立高校(全日制)を希望している	759 (50%)	45 (9%)	804 (40%)	528 (71%)	35 (13%)	563 (55%)
静岡市外の公立高校(全日制)を希望している	63 (4%)	10 (2%)	73 (4%)	13 (2%)	5 (2%)	18 (2%)
清水区内の私立高校(全日制)を希望している	18 (1%)	27 (6%)	45 (2%)	3 (0%)	8 (3%)	11 (1%)
駿河区・葵区の私立高校(全日制)を希望している	100 (7%)	15 (3%)	115 (6%)	57 (8%)	10 (4%)	67 (7%)
静岡市外の私立高校(全日制)を希望している	33 (2%)	6 (1%)	39 (2%)	8 (1%)	2 (1%)	10 (1%)
定時制、通信制、あるいは県外の高校を希望している	50 (3%)	9 (2%)	59 (3%)	17 (2%)	9 (3%)	26 (3%)
高校進学希望であるが、公立・私立や地域は決まっていない	285 (19%)	94 (20%)	379 (19%)	81 (11%)	57 (21%)	138 (14%)
高校以外への進学を希望している	4 (0%)	1 (0%)	5 (0%)	1 (0%)	(0%)	1 (0%)
就職を希望している	1 (0%)	(0%)	1 (0%)	0 (0%)	(0%)	(0%)
未定・その他	147 (10%)	53 (11%)	200 (10%)	20 (3%)	10 (4%)	30 (3%)
合計	1,522 (100%)	482 (100%)	2,004 (100%)	745 (100%)	272 (100%)	1,017 (100%)

近くの公立高校(全日制)へ希望する生徒が多い。まだ具体的に決めていない中学生は「高校進学希望であるが、公立・私立や、地域は決まっていない」「未定・その他」を併せると3割近くいる

【高校教育についてのアンケート】

静岡県立高等学校の在り方に係る地域協議会(静岡地区・清庵地区)における検討のために実施

調査期間:
令和6年4月15日～5月10日
調査対象:
静岡市の市立中学3年生とその保護者及び公立高校2年生
調査方法:
調査対象の学校から2次元コードを配布し、Googleフォームで回答
回答状況
中学生 2,004人(41.7%)
保護者 1,017人(21.1%)
高校生 1,645人(57.4%)

視点① 高校教育についてのアンケート(志望校を選ぶ際に重視する項目)

Q_志望校を選ぶにあたり重視する項目を教えてください。

【高校教育についてのアンケート】

	最大3つまで回答						最も重視するもの1つ						実際に入学して 良かったこと 高校生（3つまで）
回答の選択肢	中学生③		中学生保護者③		高校生③		中学生保護者①		高校生①				
	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)			
自宅からの距離や 交通手段の利便性など通学しやすさ	1,088	(54%)	517	(51%)	774	(47%)	81	(8%)	257	(16%)	588	(36%)	
卒業後の進学・就職に実績がある	1,001	(50%)	620	(61%)	675	(41%)	240	(24%)	270	(16%)	287	(17%)	
希望する学科やコースがある	454	(23%)	269	(26%)	559	(34%)	84	(8%)	297	(18%)	319	(19%)	
部活動が充実している（所属したい部活動がある）	605	(30%)	165	(16%)	466	(28%)	59	(6%)	183	(11%)	481	(29%)	
学校の校風、雰囲気・生徒のイメージが良い （口コミが良い、知人がいるなども含む）	766	(38%)	364	(36%)	520	(32%)	68	(7%)	154	(9%)	430	(26%)	
学力が自分に合っている	974	(49%)	456	(45%)	866	(53%)	130	(13%)	348	(21%)	492	(30%)	
特待生（授業料や入学金などが減免される）制度が 利用できる	46	(2%)	22	(2%)	0	(0%)	2	(0%)	0	(0%)	0	(0%)	
制服が魅力的である	190	(9%)	0	(0%)	136	(8%)	0	(0%)	24	(1%)	158	(10%)	
学校行事（文化祭や体育祭など）が充実している	398	(20%)	16	(2%)	146	(9%)	0	(0%)	13	(1%)	318	(19%)	
地域貢献活動や、ボランティア活動、職場体験など が充実している	34	(2%)	19	(2%)	37	(2%)	2	(0%)	5	(0%)	79	(5%)	
施設・設備が充実している （校舎がきれい、グラウンドが広い等も含む）	308	(15%)	29	(3%)	197	(12%)	0	(0%)	23	(1%)	256	(16%)	
本人の希望を尊重したい	-		345	(34%)	-		345	(34%)	-		-		
その他	47	(2%)	19	(2%)	130	(8%)	5	(0%)	75	(5%)	53	(3%)	

Q_高校ではどのような学科で学びたいですか(単一回答)（中学生および中学生保護者）

【高校教育についてのアンケート】

回答の選択肢	中学生		中学生保護者	
	人数	(%)	人数	(%)
難関大学への進学を目指す普通科(特別進学コースなど)や理数科	174	(9%)	110	(11%)
大学・短大等への進学を目指す普通科	571	(29%)	242	(24%)
普通教科を学びつつ、一部、自分の興味がある特色のある分野での学習ができる普通科	636	(32%)	285	(28%)
普通教科と専門教科を自分の進路(興味)に合わせて選択できる総合学科	292	(15%)	262	(26%)
専門的な学習ができる芸術科、商業科、工業科、農業科などの専門学科	290	(15%)	86	(8%)
身の周りで起こる物事から自ら課題を見つけて探究していく学びに特化した探究科	6	(0%)	20	(2%)
上記以外の学科	29	(1%)	11	(1%)

中学生・保護者ともに、進路希望に合った特色ある学びを求める傾向がみられる。

Q_現在、学んだり、取り組んだりしていることで興味あることは？(複数回答)（高校生）

回答の選択肢	高校生	
	人数	(%)
普通教科の学習	749	(45%)
進路を踏まえた専門的な分野の学習	517	(31%)
生徒会活動	60	(4%)
部活動	795	(48%)
総合的な探究の時間などに取り組む探究活動	119	(7%)
地域貢献活動やボランティア活動	79	(5%)
学校外での習い事	114	(7%)
その他	45	(3%)

高校2年生の5月は3年生から部活動のリーダーを引き継ぐ時期でもあり、意欲をもって取り組んでいる生徒が多いことが伺える。学習にも意欲的に取り組んでいる。

視点① 高校教育についてのアンケート(興味ある学習内容)

Q_学んでみたい興味ある学習分野は？(3つまで) (中学生および中学生保護者)

【高校教育についてのアンケート】

回答の選択肢	中学生		中学生保護者	
	人数	(%)	人数	(%)
進学に必要な普通科目のみ	627	(31%)	339	(33%)
スポーツ	567	(28%)	186	(18%)
演劇・音楽	265	(13%)	55	(5%)
芸術(美術・書道等)	200	(10%)	99	(10%)
福祉・介護	71	(4%)	58	(6%)
医学・医療(看護)	232	(12%)	150	(15%)
教育・保育	189	(9%)	96	(9%)
美容・ファッション	309	(15%)	73	(7%)
動物・生物	318	(16%)	68	(7%)
外国語・国際(グローバル)	204	(10%)	332	(33%)
調理・食品栄養	181	(9%)	98	(10%)
環境・エネルギー	58	(3%)	73	(7%)
防災	10	(0%)	12	(1%)

回答の選択肢	中学生		中学生保護者	
	人数	(%)	人数	(%)
工業	72	(4%)	54	(5%)
建築・建設	121	(6%)	58	(6%)
情報・ICT	256	(13%)	294	(29%)
商業	155	(8%)	94	(9%)
観光	33	(2%)	6	(1%)
農業	115	(6%)	44	(4%)
水産業	33	(2%)	5	(0%)
宇宙・航空	87	(4%)	16	(2%)
アニメ・映像	328	(16%)	48	(5%)
地域	7	(0%)	17	(2%)
探究学習	17	(1%)	96	(9%)
その他	40	(2%)	36	(4%)
回答人数 合計	2,004		1,017	

中学生・保護者ともに、進学に対して関心が高いことが伺える。中学生は現在の自分の興味・関心の高いものを選択している傾向があるが、保護者は実際に社会に出て活用できる学問分野を選択している傾向がみられる。

Q_高校でどのような力を伸ばしたいですか。(2つ選択)

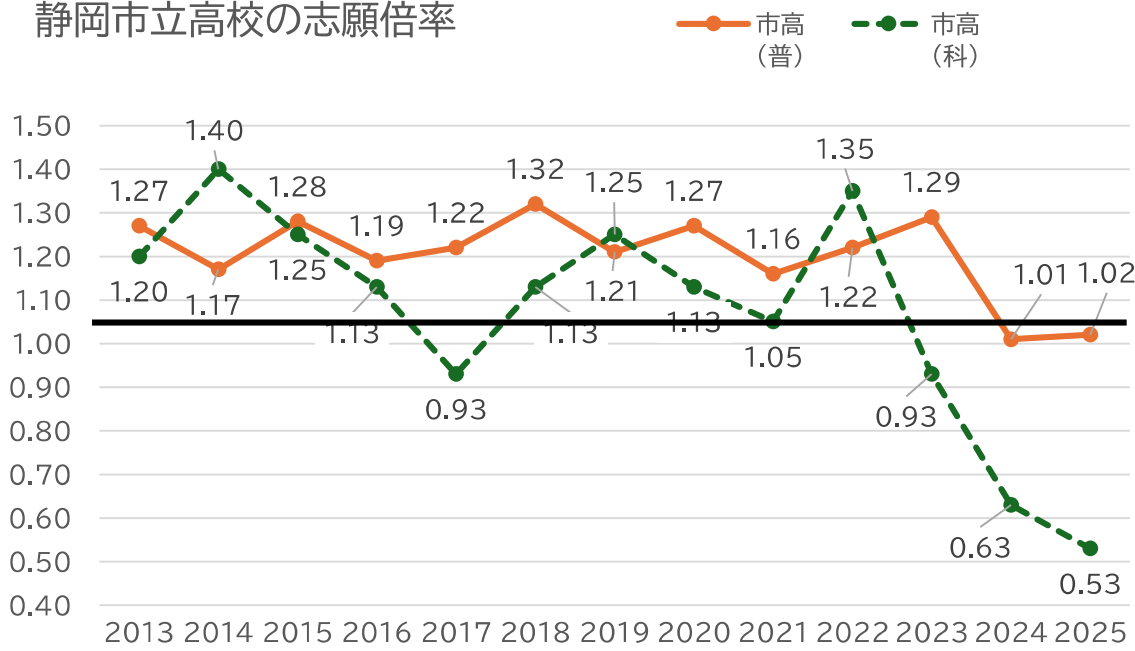
【高校教育についてのアンケート】

回答の選択肢	中学生		中学生保護者		高校生	
	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)
進学に役立つ学力	988	(49%)	376	(37%)	854	(52%)
就職に役立つ技能・資格	881	(44%)	295	(29%)	420	(26%)
インターネットやプログラミングなどのIT活用技術	198	(10%)	95	(9%)	115	(7%)
グローバル社会で活躍できる力	145	(7%)	158	(16%)	134	(8%)
身の回りの様々な問題を解決できる力(思考力・判断力・表現力)	214	(11%)	392	(39%)	220	(13%)
よりよい社会を切り拓くリーダーシップ	37	(2%)	19	(2%)	51	(3%)
良好な人間関係を築くコミュニケーション力	519	(26%)	317	(31%)	460	(28%)
部活動やスポーツなどを通して養う健康な心身	291	(15%)	119	(12%)	191	(12%)
文化・芸術活動などを通して養う情緒豊かな心	119	(6%)	19	(2%)	100	(6%)
規則正しい生活などの基本的な生活習慣	84	(4%)	45	(4%)	129	(8%)
社会人として必要な常識や教養	406	(20%)	145	(14%)	234	(14%)
その他	14	(1%)	3	(0%)	8	(0%)
回答人数 合計	2,004		1,017		1,647	

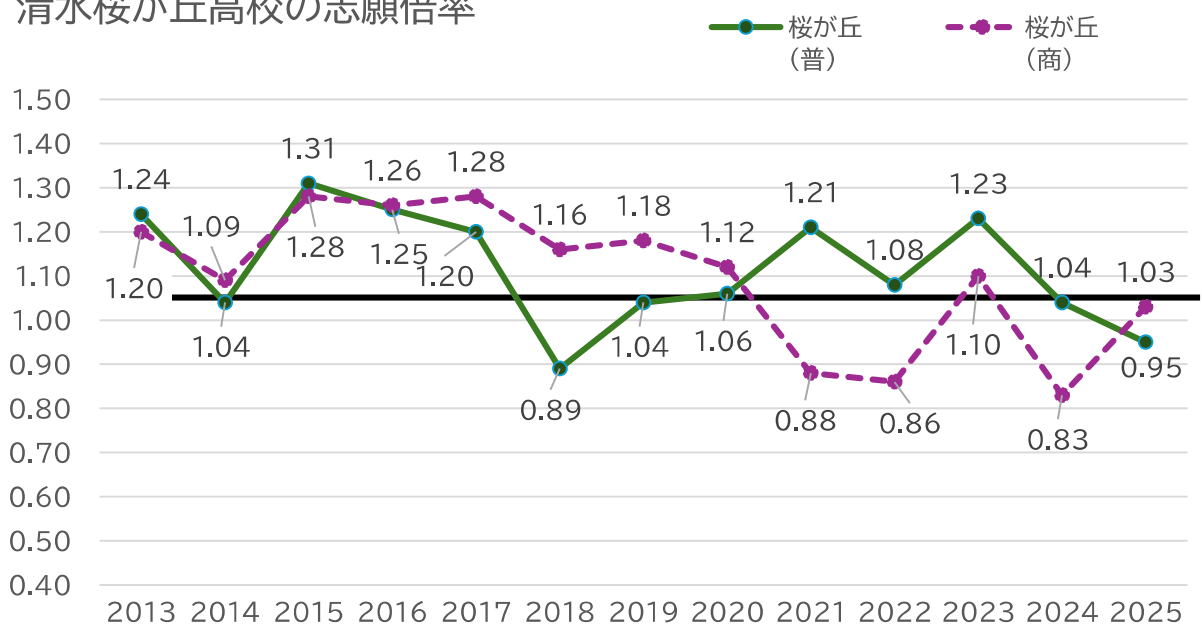
中学生、高校生、保護者共に、「進路に結びつく力」や「コミュニケーション能力」が多い中で、社会経験のある保護者は、「身の回りの様々な問題を解決できる力」が第1位であることが特徴的である。

視点① 静岡市立2高校の志願状況

静岡市立高校の志願倍率



清水桜が丘高校の志願倍率

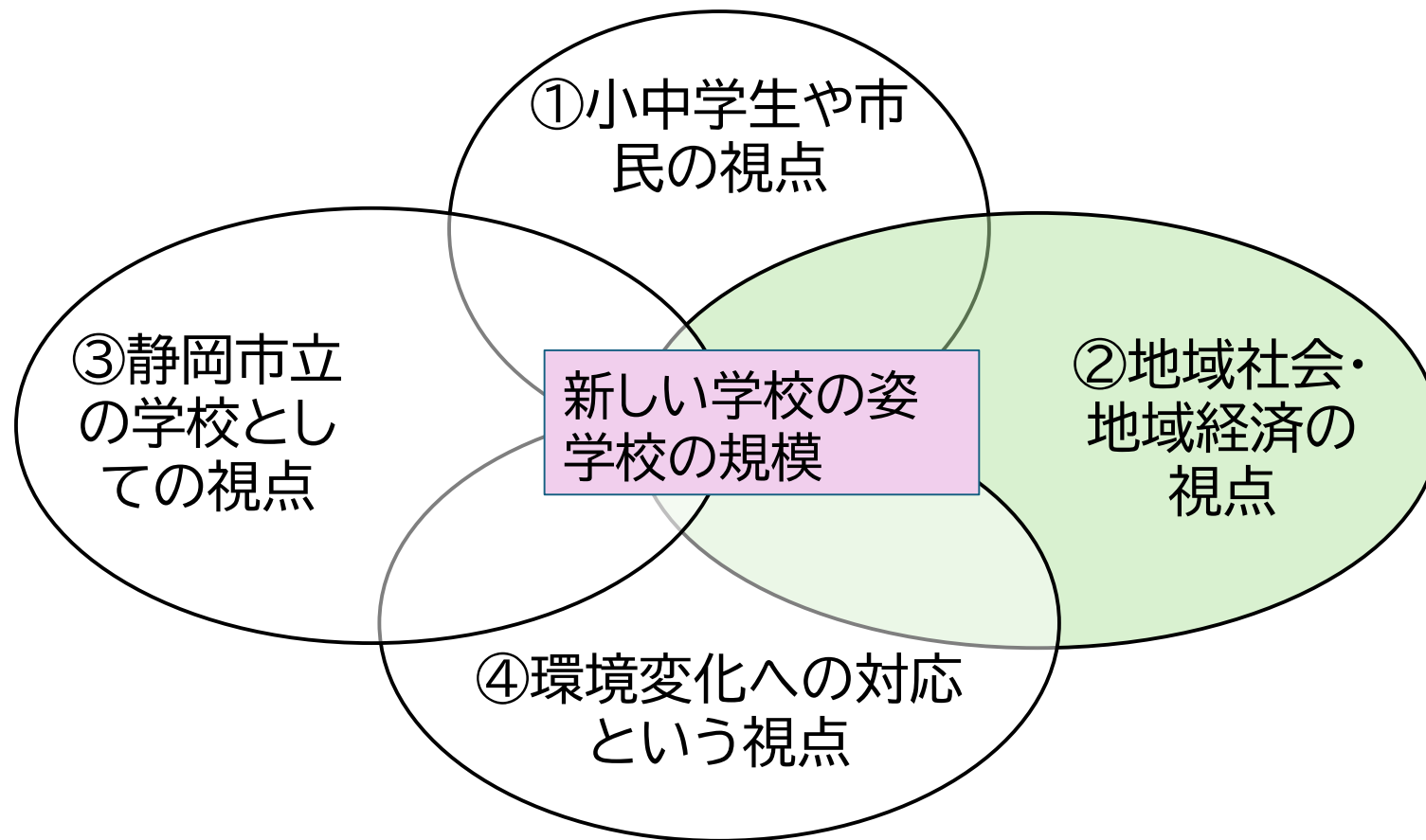


入学年度		H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7
学校		2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
静岡市立	普通 (7クラス)	1.27	1.17	1.28	1.19	1.22	1.32	1.21	1.27	1.16	1.22	1.29	1.01	1.02
	科探 (1クラス)	1.20	1.40	1.25	1.13	0.93	1.13	1.25	1.13	1.05	1.35	0.93	0.63	0.53
清水桜が丘	普通 (3クラス※)	1.24	1.04	1.31	1.25	1.20	0.89	1.04	1.06	1.21	1.08	1.23	1.04	0.95
	商業 (3クラス)	1.20	1.09	1.28	1.26	1.28	1.16	1.18	1.12	0.88	0.86	1.10	0.83	1.03

視点① 静岡市内の公立高校の志願状況

		R4年度(2022)			R5年度(2023)			R6年度(2024)			R7年度(2025)			学校名	学科名
学校名	学科名	R4 定員	R4 志願者	R4 倍率	R5 定員	R5 志願者	R5 倍率	R6 定員	R6 志願者	R6 倍率	R7 定員	R7 志願者	R7 倍率		
清水東	普通	240	246	1.03	240	253	1.05	240	249	1.04	240	261	1.09	清水東	普通
	理数	40	54	1.35	40	47	1.18	40	48	1.20	40	57	1.43		理数
	学科計	280	300	1.07	280	300	1.07	280	297	1.06	280	318	1.14		学科計
清水西	普通	200	125	0.63	160	150	0.94	160	162	1.01	160	173	1.08	清水西	普通
清水南	普通	120	(91)	(0.76)	120	(109)	(0.91)	120	(99)	(0.83)	120	(98)	(0.82)	清水南	普通
	芸術	40	(37)	(0.93)	40	(26)	(0.65)	40	(40)	(1.00)	40	(35)	(0.88)		芸術
	学科計	160	(128)	(0.80)	160	(135)	(0.84)	160	(139)	(0.87)	160	(133)	(0.83)		学科計
清水桜が丘	普通	120	130	1.08	120	148	1.23	120	125	1.04	120	114	0.95	清水桜が丘	普通
	商業	120	103	0.86	120	132	1.10	120	100	0.83	120	124	1.03		商業
	学科計	240	233	0.97	240	280	1.17	240	225	0.94	240	238	0.99		学科計
静岡	普通	320	384	1.20	320	365	1.14	320	378	1.18	320	362	1.13	静岡	普通
静岡城北	普通	200	266	1.33	200	245	1.23	200	221	1.11	200	245	1.23	静岡城北	普通
	グローバル(国際)	40	40	1.00	40	48	1.20	40	52	1.30	40	42	1.05		グローバル(国際)
	学科計	240	306	1.28	240	293	1.22	240	273	1.14	240	287	1.20		学科計
静岡東	普通	280	321	1.15	280	325	1.16	280	302	1.08	280	293	1.05	静岡東	普通
静岡西	普通	160	95	0.59	120	86	0.72	120	98	0.82	80	87	1.09	静岡西	普通
駿河総合	総合	240	254	1.06	240	236	0.98	200	216	1.08	200	247	1.24	駿河総合	総合
静岡農業	生物生産・生産流通	80	57	0.71	80	64	0.80	80	84	1.05	80	72	0.90	静岡農業	生物生産・生産流通
	環境科学	80	86	1.08	80	65	0.81	40	49	1.23	40	37	0.93		環境科学
	食品科学・生活科学	80	81	1.01	80	78	0.98	80	104	1.30	80	80	1.00		食品科学・生活科学
	学科計	240	224	0.93	240	207	0.86	200	237	1.19	200	189	0.95		学科計
科学技術	機械工学	40	28	0.70	40	41	1.03	40	38	0.95	40	31	0.78	科学技術	機械工学
	ロボット工学ほか	40	50	1.25	40	47	1.18	40	50	1.25	40	36	0.90		ロボット工学ほか
	電気工学	40	28	0.70	40	50	1.25	40	40	1.00	40	43	1.08		電気工学
	情報システム	40	80	2.00	40	62	1.55	40	66	1.65	40	56	1.40		情報システム
	建築デザイン	40	45	1.13	40	59	1.48	40	28	0.70	40	48	1.20		建築デザイン
	都市基盤工学	40	30	0.75	40	47	1.18	40	39	0.98	40	44	1.10		都市基盤工学
	電子物質工学	40	42	1.05	40	54	1.35	40	39	0.98	40	30	0.75		電子物質工学
	理工(理数科)	40	54	1.35	40	56	1.40	40	51	1.28	40	41	1.03		理工(理数科)
	学科計	320	357	1.12	320	416	1.30	320	351	1.10	320	329	1.03		学科計
静岡商業	商業	160	165	1.03	160	179	1.12	160	151	0.94	160	182	1.14	静岡商業	商業
	情報処理	80	62	0.78	80	76	0.95	80	56	0.70	40	41	1.03		情報処理
	学科計	240	227	0.95	240	255	1.06	240	207	0.86	200	223	1.12		学科計
静岡市立	普通	280	341	1.22	280	361	1.29	280	283	1.01	280	286	1.02	静岡市立	普通
	科学探究	40	54	1.35	40	37	0.93	40	25	0.63	40	21	0.53		科学探究
	学科計	320	395	1.23	320	398	1.24	320	308	0.96	320	307	0.96		学科計
市内公立の合計		3,240	3,349	1.03	3,160	3,446	1.09	3,080	3,193	1.04	3,000	3,186	1.06	市内公立の合計	

【資料4】検討の視点② (地域社会・地域経済の視点)に関する資料



- ・社会が求める人材像
- ・静岡市の地元就職・Uターン就職状況
- ・市立2高校における「社会と連携した学び」の事例
- ・コーディネータの活用による社会と連携した取り組み
- ・高校教育についてのアンケート結果
 - 学校と地域の関わりで興味があるもの
 - 将来、地元に戻ってきたいか

産業界が学生に求める資質・能力・知識

- 2022年に産業界がまとめた大学卒業生に期待する「資質」、「能力」、「知識」は、
「資質」… 主体性、チームワーク・リーダーシップ・協調性 等
「能力」… 課題設定・解決能力、論理的思考力 等
「知識」… 文系・理系の枠を超えた知識・教養、専攻分野における基礎知識 等
となっている。

産業界が学生に求めるもの（上位5項目）

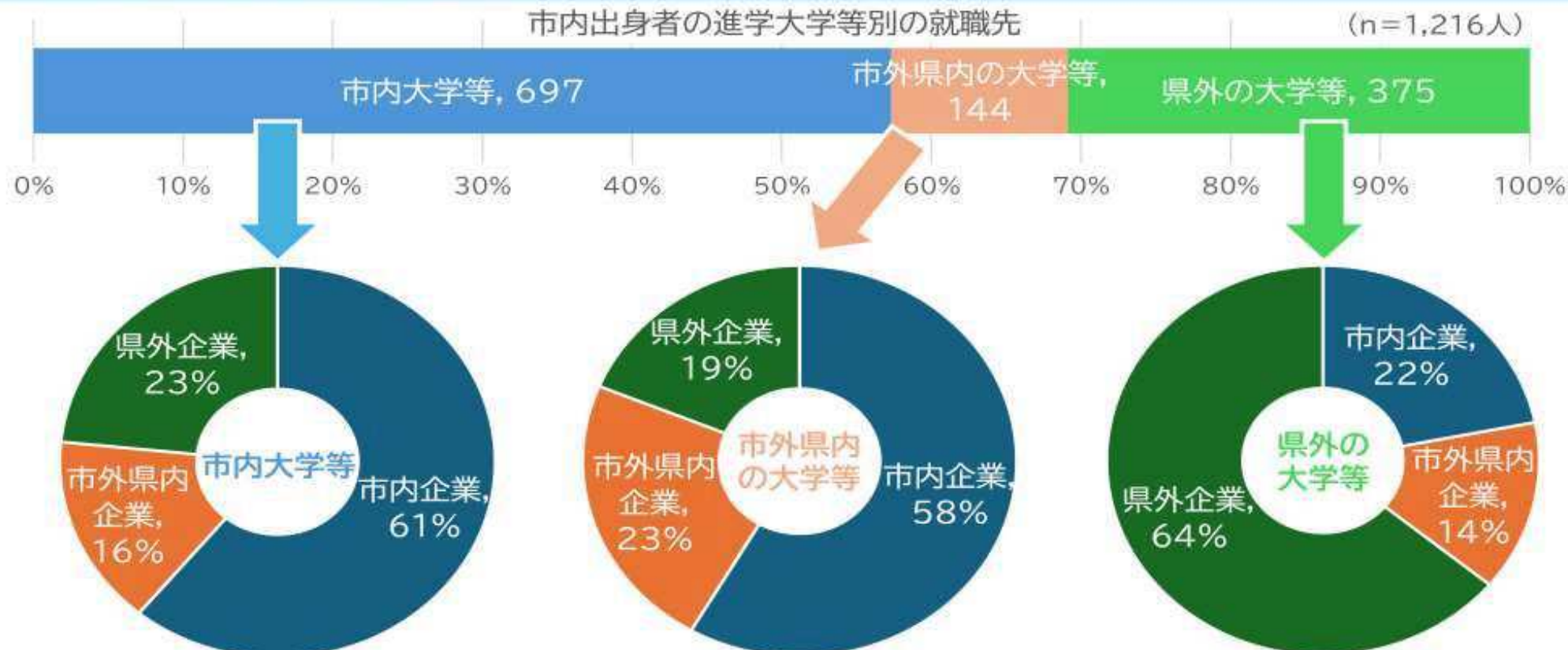
	「資質」	「能力」	「知識」
1位	主体性	課題設定・ 解決能力	文系・理系の枠を超えた 知識・教養
2位	チームワーク・ リーダーシップ・協調性	論理的思考力	専攻分野における 基礎知識
3位	実行力	創造力	専攻分野における 専門知識
4位	学び続ける力	傾聴力	数理・データサイエンス・ I T・A Iに関する専門知識
5位	柔軟性	発信力	専門資格

これは、大学卒業生に期待する「資質」「能力」「知識」であるが、高校生以下の段階においてはその素地形成が大切

（出所）経団連「採用と大学改革への期待に関するアンケート結果」を基に経済産業省が作成。

静岡市出身大学生等(2023年3月卒業)の地域別就職先

- 市出身で市内大学等卒業生のうち、39%が市外に就職している。
- 市内大学等卒業生と市外県内大学等卒業生の市内就職率にほとんど差はないが、県外大学等卒業生は22%であり、県外大学生のUターン率が非常に低い。



調査対象	①県内の大学、短期大学、専門学校で2023.3月に市内高校を卒業した進学者がいる全校 ②県外の大学、短期大学、専門学校で2023.3月に市内高校を卒業した進学者数の上位校
調査票送付数	216校(市内35校、市外県内40校、県外141校)
有効回答数	延べ回答数:115校(回答率53.4%) 有効回答数:80校(市内23校、県内11校、県外46校)

出典:静岡市「令和5年度静岡市UIターン就職促進に係る若者の意識等調査」

清水桜が丘高校HP / 静岡市HPより



【つかえる学び×つながる学び】 清水桜が丘高等学校

キーワードは
「地域まるごと学びの場」

清水桜が丘高校では、地元清水・静岡のみなさんと一緒に地域の魅力化に挑戦しています。



学びの成果もでています



令和6年度静岡市SDGs連携アワード ユースアクション部門受賞！
「私たちの学びを届けて未来へ繋げる」～静岡市の特産品を活用して～
【清水桜が丘高校×有限会社秋月堂×しずおかもったいないプロジェクト】

静岡市の特産品である葉ネギが農場で廃棄される「規格外野菜」の存在を知り、食品ロス削減につなげるため、地元の老舗お菓子処である秋月堂との協力のもと、葉ネギを活用した商品開発に取り組みました。



【探究的な学び】 静岡市立高等学校

静岡市立高等学校HPより

キーワードは 「大学等の資源を生かす仕組みづくり」

総合的な探究の時間等の連携にむけて、静岡大学教育学部・NPO法人しずおか共育ネットとの連携協定を締結(R4)



静岡大学教育学部HPより

学びの成果もでています

令和6年度全国高校生マイプロジェクトアワード 地域summit特別賞を受賞！

市高普通科2年生と6つの探究チームと3年生1名がアワードに参加し、そのうち2年生の2チームが地域summit特別賞を受賞しました。



「見れないなら作ればいい！人工オーロラの生成」

「もしも高校生が中学生3×3チームをマネジメントしたら」



このほか、台湾の国立新竹科学園區高級中等学等を含む国内外の教育機関との連携した学び等も行っています。

- 実学的な学びの推進における課題であった「学校と外部人材とのマッチング」等を教員に代わって行う**連携コーディネーター**を活用する仕組みを令和6年度に整えました。
- R6は清水桜が丘高校で先行実施し、R7からは静岡市立高校にも拡充します！

【コーディネーターの業務(1連携あたり)】

- (授業前:第1日目) 担当教諭と打合せ、授業案および企画書の作成
- (授業前:第2日目) 外部人材の発掘・マッチング、生徒アンケートの作成(授業前後に実施)
- (授業中:第3日目) 授業に参加し、記録(写真等)をとる、アンケートの実施、授業のサポート
- (授業後:第4日目) アンケートの集計、授業者との振り返り、報告書の作成、学校HPでの広報

【R6の実績】 ※清水桜が丘高校

- (連携授業数) 17回/20回 実施
- (コーディネーター) 辻田啓介、松木季代子、松木喜伯、大内雄仁、松永康太、大澤歩、小俣憲一、大石朗紀、牧田裕介
- (授業内容)
 - ・商品パッケージのデザイン制作
 - ・「東海道おんぱく」でのプログラム作成
 - ・デザイン思考に基づくまちづくり
 - ・商品開発の手法を学ぶ

【成果】 ※アンケート結果より

- (生徒) 授業で学んだことが実際の商品開発・販売につながり、学校での学びが役立つと感じた。
地元の企業が静岡のためにアクションを起こしていることを知り、自分も地域に役立つ人になりたいと思った。
- (教員) これまで自分で連携先を探していたが、その時間が削減できた。
コーディネーターがいることにより連携型授業へのハードルが下がり、実際自分の学びにもつながった。
- (学校) 外部人材と協働して行う課題解決型学習の成果を中学生や保護者等に広くアピールできている。



規格外野菜をもちいたアスリート弁当を
企業と共同開発・販売

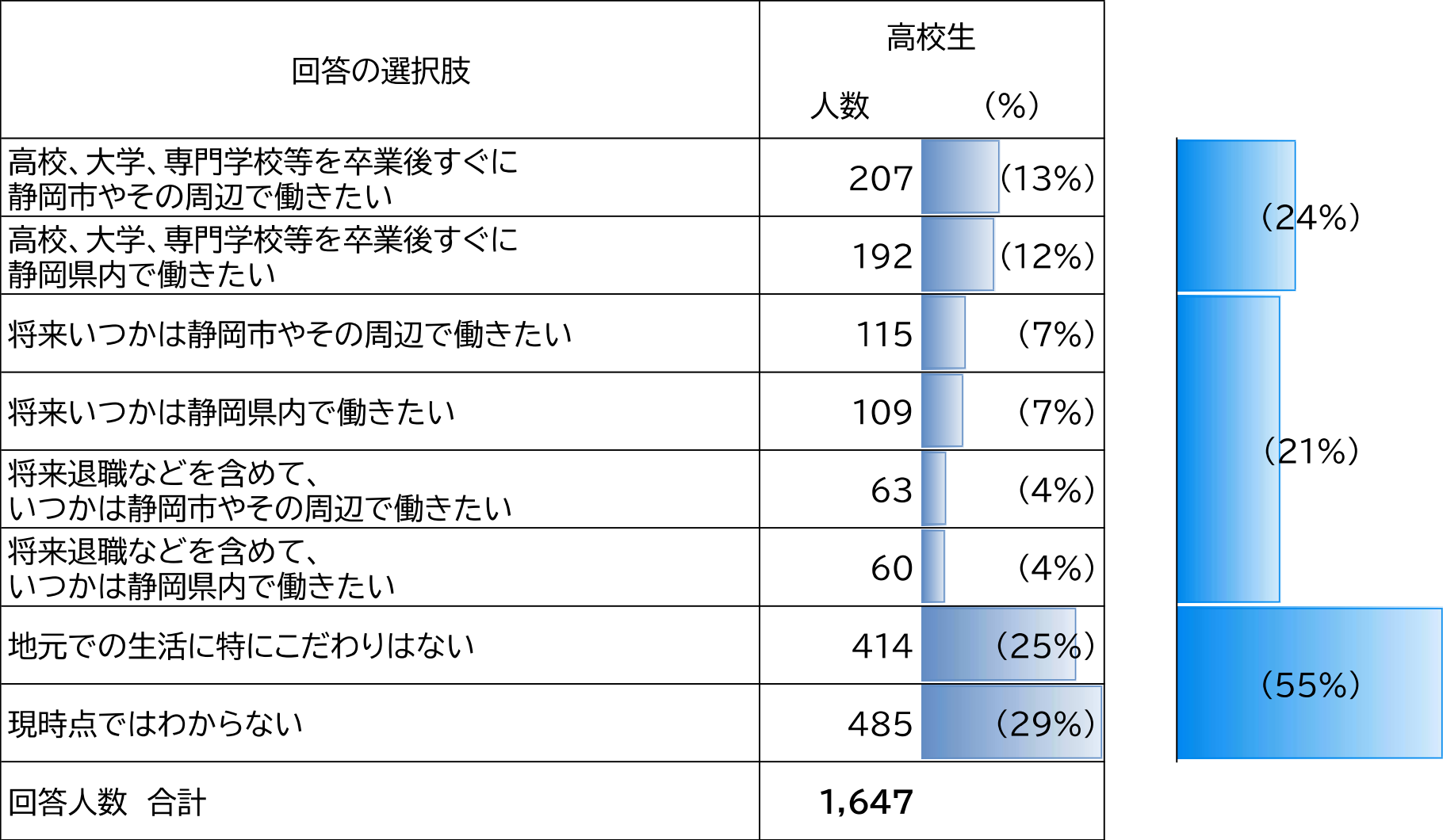
Q_学校と地域が関わる活動で興味があるものについて教えてください。(2つまで選択)

【高校教育についてのアンケート】

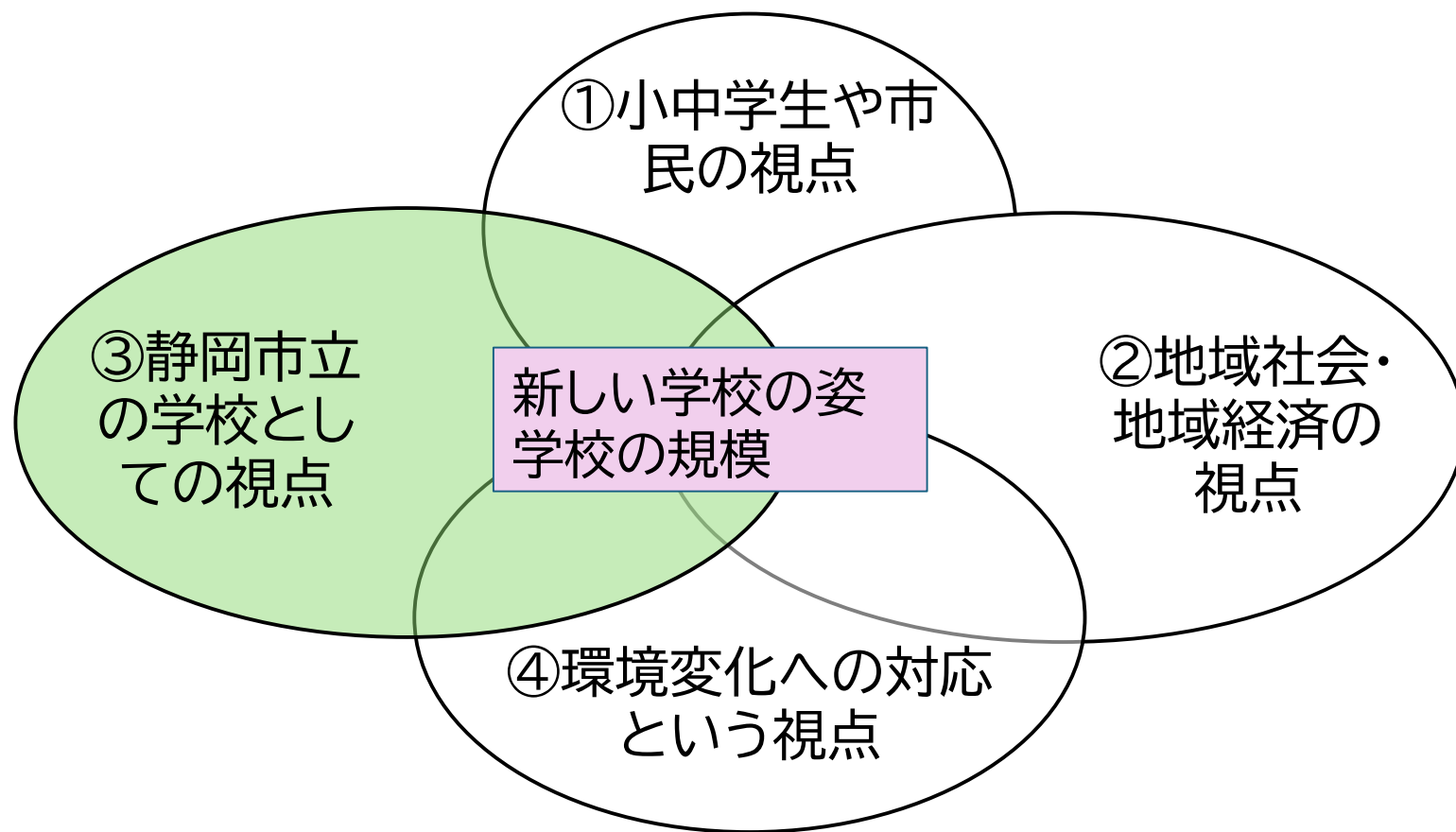
回答の選択肢	中学生		中学生保護者		高校生	
	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)
地域の人と一緒に地域の課題を解決する活動	497	(25%)	269	(26%)	344	(21%)
地域の人から地域についての講義を受けること	147	(7%)	60	(6%)	120	(7%)
地域の人から部活動の指導を受けること	332	(17%)	76	(7%)	137	(8%)
地域の産業や企業の魅力について学ぶこと	351	(18%)	309	(30%)	183	(11%)
企業と一緒に商品開発や販売などを行うこと	429	(21%)	279	(27%)	273	(17%)
職場体験やインターンシップ等に参加すること	478	(24%)	463	(46%)	401	(24%)
地域の人と一緒に学校行事(文化祭・体育祭など)や生徒会活動(清掃や美化活動など)を行うこと	503	(25%)	100	(10%)	173	(11%)
地域の防災活動等に参加すること	222	(11%)	133	(13%)	160	(10%)
特にない	486	(24%)	57	(6%)	427	(26%)
回答人数 合計	2,004		1,017		1,647	

Q_将来は地元で働きたい(戻ってきたい)と思いますか。(高校生のみ。単一回答)

【高校教育についてのアンケート】



【資料5】検討の視点③ (静岡市立の学校としての視点)に関する資料



- ・静岡市教育大綱
- ・市立2高校と県立高校の共通点、相違点
- ・市立2高校の教員構成

【概要】 静岡市教育大綱

1 静岡市教育大綱の特徴

義務教育の範囲に限らず、乳幼児期からの支援やリカレント教育の推進といった、「全世代・全市民」を対象にした人づくりの「総合的な施策の大綱」である「静岡市教育大綱」を策定しました。

2 静岡市教育大綱の策定根拠

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3第1項
「地方公共団体の長（市長）は、教育基本法第17条第1項に規定する基本的な方針を参酌し、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定める」とされています。
この「総合的な施策の大綱」が、今回の「静岡市教育大綱」に当たります。

3 静岡市教育大綱の位置づけ

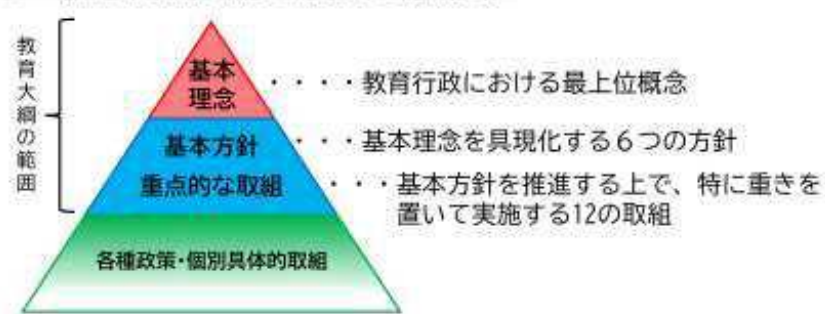
静岡市教育大綱を、本市の教育行政における基本的な方針に位置付け、その内容に則した各種政策・個別具体的取組を推進します。



4 市長と教育委員会との協議（総合教育会議）等の経過

	R 5年度			R 6年度									
	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
総合教育会議	★ (12/6)			★ (3/26)		★ (5/30)			★ (8/22)				
パブリックコメント													

5 静岡市教育大綱の構成（3層構造）



6 静岡市教育大綱の内容 ●基本理念 ○基本方針（関係局）

●基本理念
多種多様な学びと地域の教育力を通じて、一人ひとりが心豊かで幸せを感じられる人生を送ることができる基礎を作るとともに、持続可能な社会を支える人を育てる

○基本方針1
「誰一人取り残されず、全ての人の可能性が引き出される」
（市民局・観光交流文化局・保健福祉長寿局・子ども未来局など）

○基本方針2
「子どもの豊かな心と健やかな体を育む」
（子ども未来局・教育局など）

○基本方針3
「確かな学力と幅広い知識の下、豊かな教養と人間性を高める」
（観光交流文化局・教育局など）

○基本方針4
「新たな時代で活躍できる多様な才能・能力を伸ばす」
（環境局・経済局・教育局など）

○基本方針5
「生涯にわたる学びと成長の好循環を生み出す」
（市民局・経済局など）

○基本方針6
「教育・保育の当事者が安心感や幸福感をもてる環境を整える」
（子ども未来局・教育局など）

基本方針3の【重点的な取組】

- これまでの「同じペース」「同じ内容」「同じ方法」にとらわれない、個々の状況に応じた学びの機会を提供します。
- 「主体的・対話的で深い学び」につながる教育を実施します。

基本方針4の【重点的な取組】

- 大学や企業と連携し、一人ひとりの才能・能力を伸ばす高度な学びの機会を提供します。
- デジタルなどの成長分野をはじめ、スポーツや芸術などの様々な分野で活躍できる人材や、起業家が生まれる環境を整えます。

【県立高校との共通点】

●教育課程の編成

県立高校は高校毎に特色ある教育課程を編成している。市立の高等学校も県立高校と同じ基準(手引き)により編成している。

教育課程の届け出先は市教委であるが、県教委に点検をお願いしている。

●教員の採用・異動

県採用であり、人事異動も県教委が行う

●教員の研修(悉皆研修等)

県教委主催の研修を受講し、市教委が主催する研修は原則としてない。

●高校入試

静岡市の選抜要領もあるが、原則として「静岡県公立高等学校入学者選抜実施要領」の定めに従い実施している。

(試験問題、選抜日程、選抜方法等は同一)

●授業料、入学選抜検定料

【県立高校との相違点】

○市の独自予算

市単独の予算など、県立よりも柔軟な学校運営が可能

●教員の給与

市が給与を支払っている。

●教員の研修管理

県と同様に全国教員研修プラットフォーム(Plant)で管理しているが、番号が異なり、別管理となっている。

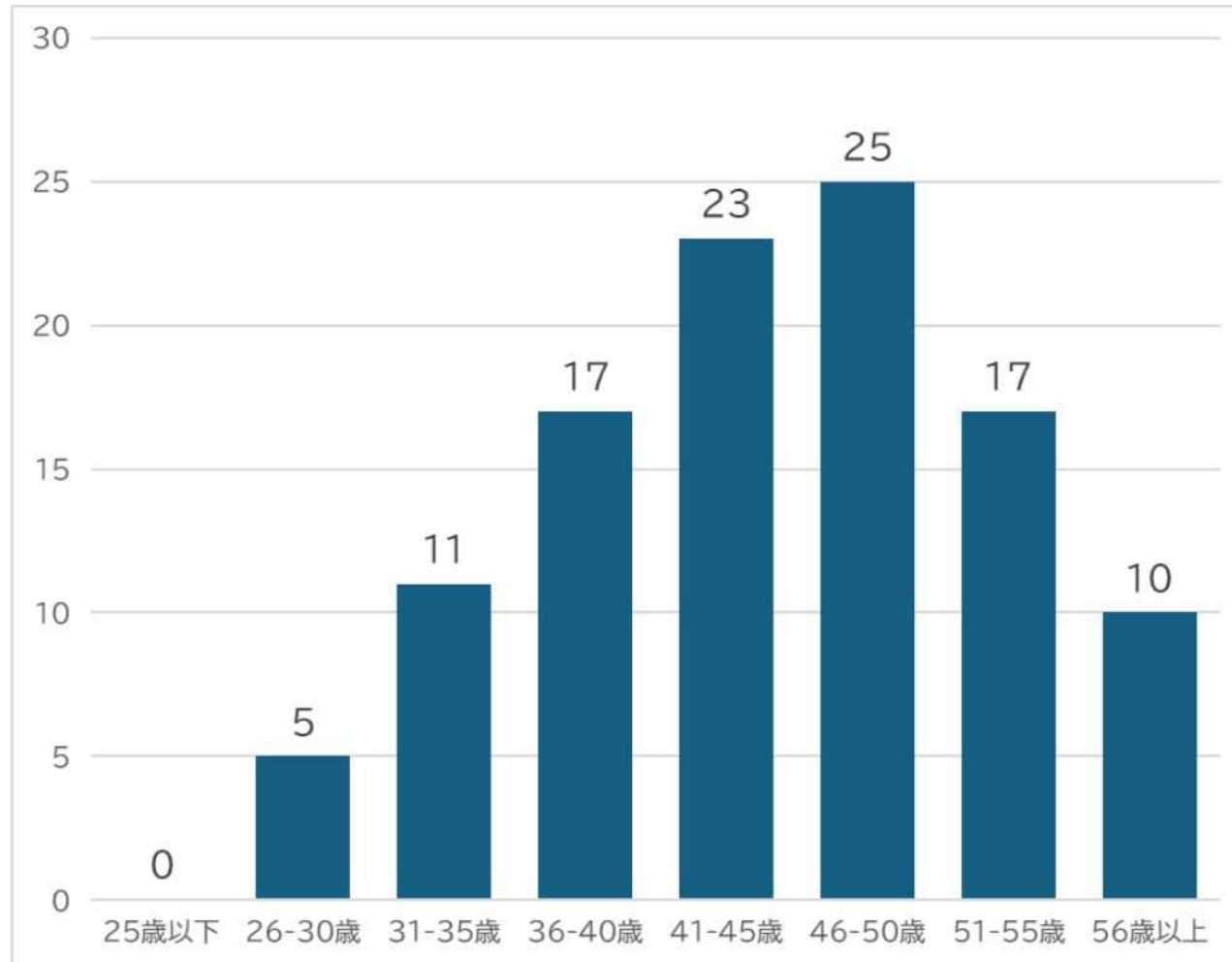
●校務システム・成績システム

●GIGAスクールのシステム

市立小中とも別管理。各校が独自に運用している。

●入試の願書、検定料の支払い方法

教員の年齢分布（2高校合計）

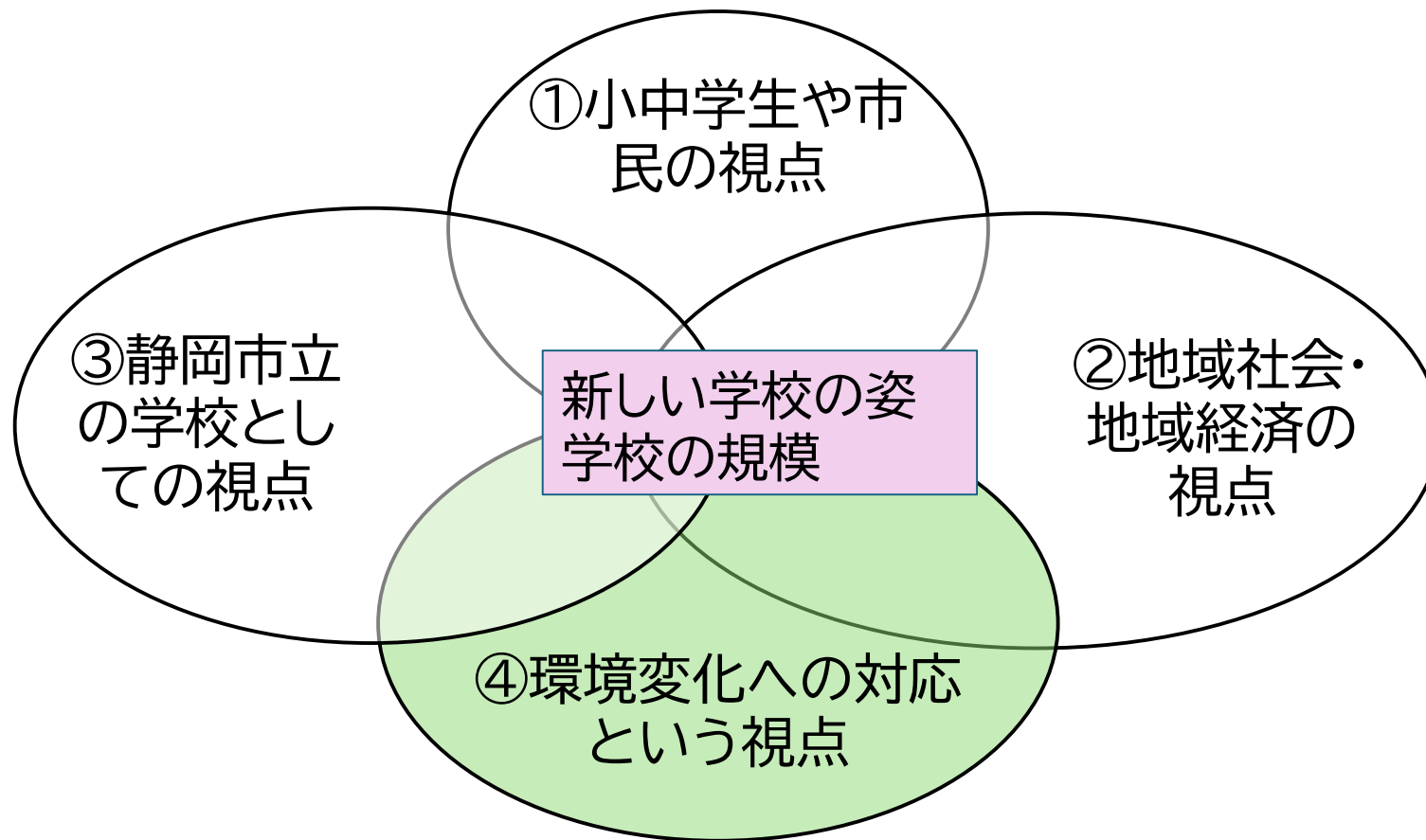


文部科学省に提出した定数報告より

【静岡市立の高等学校の教員について】

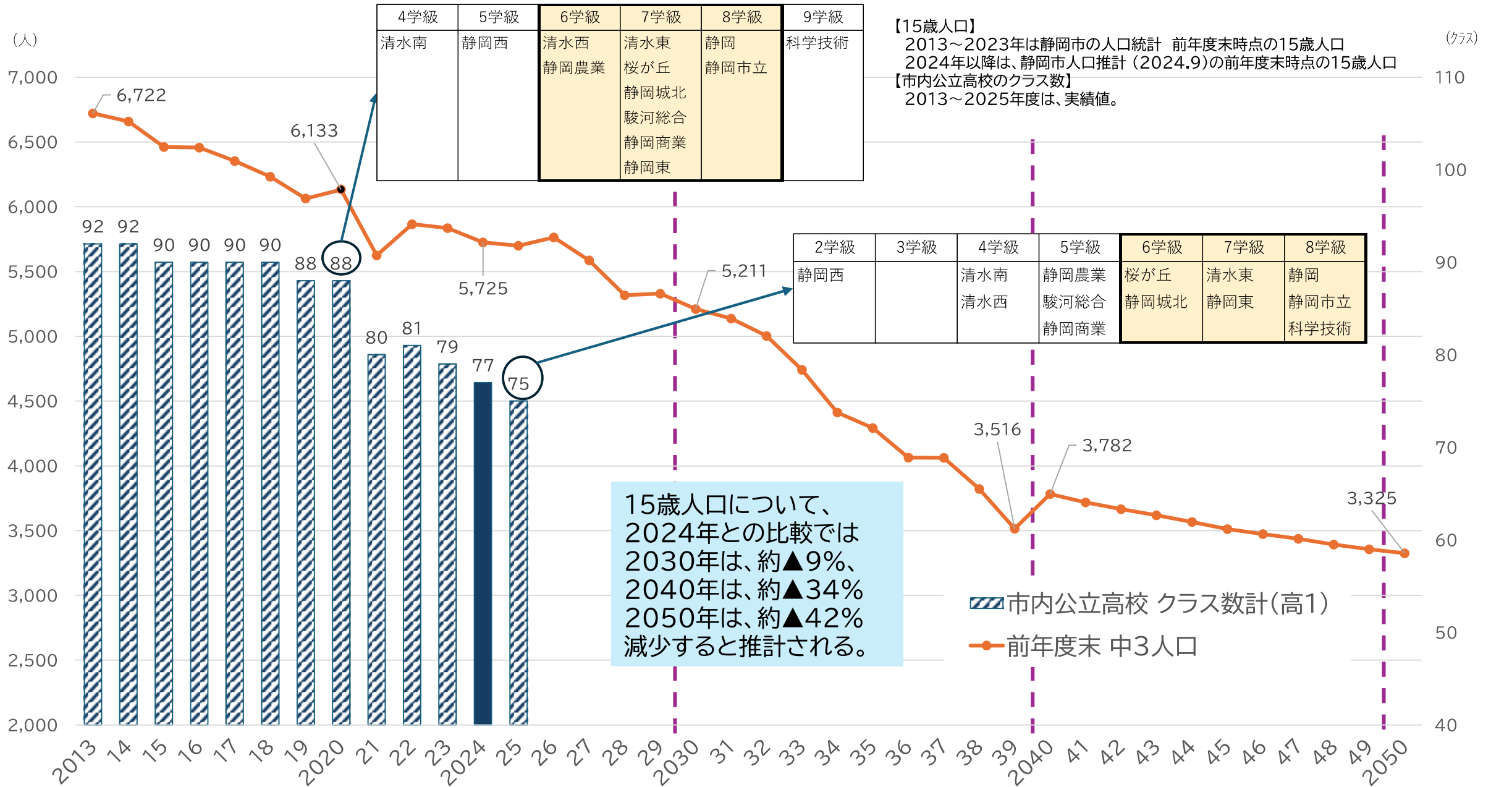
- 市が採用した教員は0人。
- すべて、県採用である。（割愛退職により市職員となり、転出の際には再度県に戻る）
- 教員の人事異動は、県教委の高校教育課が行っている。
- 中高交流で市立中学から派遣された教員が各校に1名いる。（基本3年間）
- 初任者はいない。
- 50代後半も少ない。
- 県採用から、2校目、3校目の教員が多い。
- 市立の高等学校で定年退職を迎えた場合、再任用先は、退職時にいた高等学校になっている。
令和7年度（再任用は フル2人、ハーフ4人）
- 事務職員は、市職員である。

【資料6】検討の視点④ (環境変化への対応という視点)に関する資料



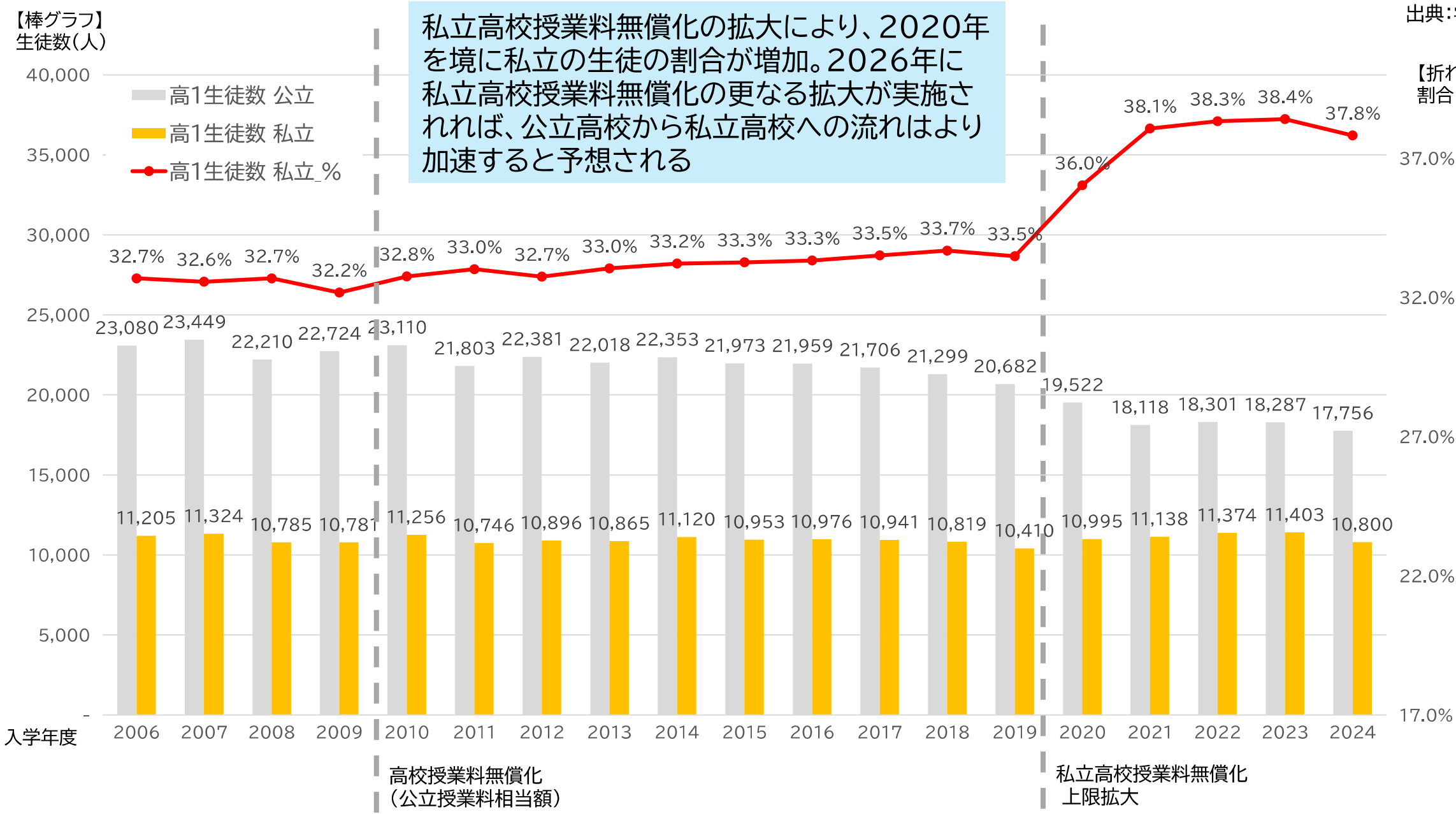
- ・静岡市将来15歳人口推計と市内公立高校の高1クラス数
- ・県内の全日制高校における公立・私立の生徒数(高1)推移
- ・中学校後に通信制高校に進学する生徒数
- ・私立高校授業料無償化に関連するニュース
- ・県立高校再編等に関するニュース
- ・市立の高等学校の財務状況

視点④ 静岡市将来15歳人口推計と市内公立高校の高1クラス数



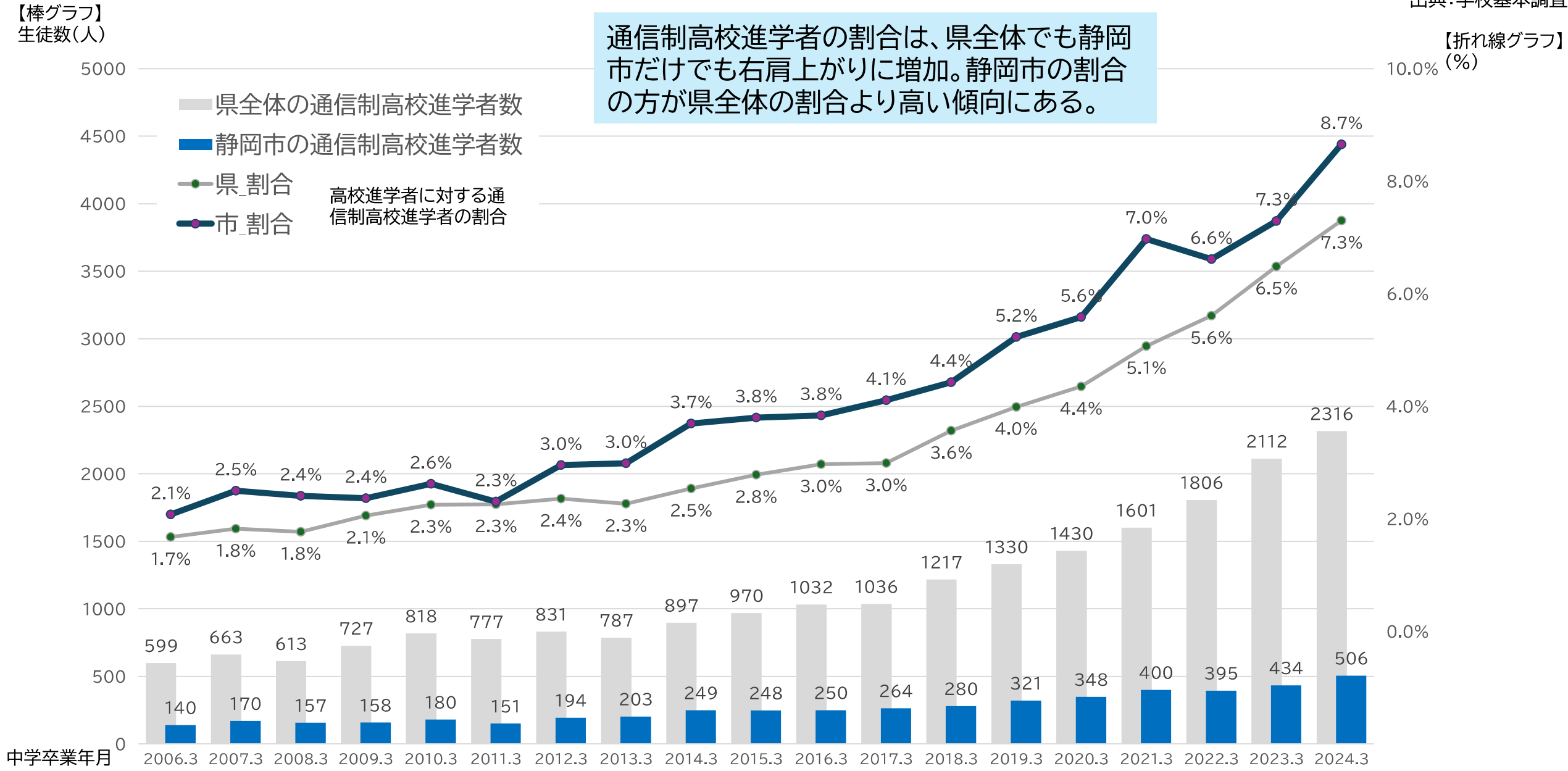
視点④ 県内の全日制高校における公立・私立の生徒数(高1)推移

出典: 学校基本調査



視点④ 中学校卒業後に通信制高校に進学する生徒数

出典:学校基本調査



文部科学省HPより

大切なお知らせ

令和7年度版

高校生の
学びを支えます。

返還不要の授業料支援の対象者の範囲が広がります。
高等学校等就学支援金の所得制限の一部を事実上撤廃

「所得制限の一部の事実上撤廃」とは？

令和7年の通常国会での審議の結果、高校生の返還不要の授業料支援の対象者の範囲が広がりました。
(これまでの①高等学校等就学支援金に加えて、②高校生等臨時支援金ことができました。)

新規

① 高等学校等就学支援金

・年収約910万円未満世帯の高校生

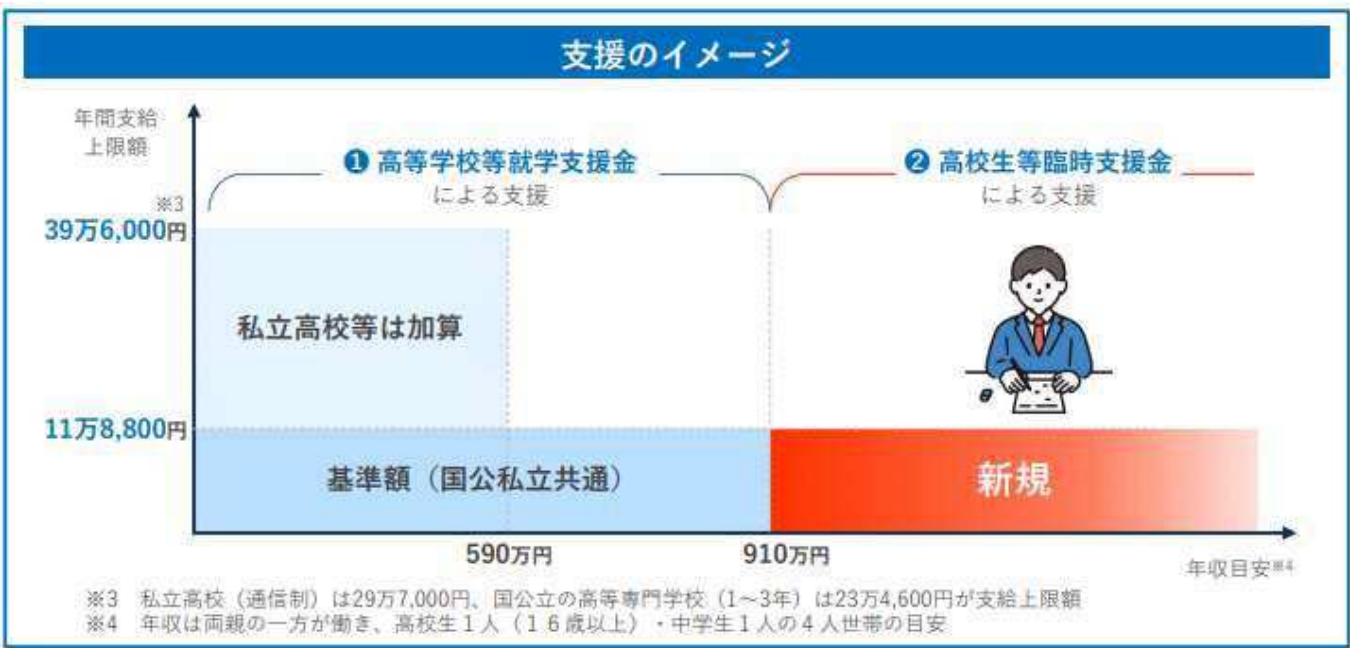
② 高校生等臨時支援金

・年収約910万円以上世帯の高校生
・国公立共通のいわゆる基準額である年額11万8,800円※2を支援

【令和7年度限り※1】

支援を希望される方には、学校からの案内に従って、申請手続きが必要となります。
手続きの時期については、学校から案内がありますので必ずご確認ください。

※1 令和8年度からの所得制限の撤廃や私立高校等の加算額の引き上げも含めたいわゆる「高校授業料の無償化」を別途検討中です。
※2 11万8,800円は上限額。学校種により異なることがあります。



【令和7年度】

- <公立高校> 全ての生徒の授業料(年118,800円)が全額無償
- <私立高校> 各校の授業料のうち、全世帯、118,800円が無償
(世帯収入に応じて差額の授業料を支払い)

【令和8年度】

国では、令和8年度からの所得制限撤廃や私立高校等の加算額の引き上げを含めた、いわゆる「高校授業料の無償化」を検討中

- ・ 全国的な少子化の進行を受け、静岡県内のみならず他都市においても在り方の見直しが行われています

【静岡県内】

【富士・富士宮の公立高校再編】

- ・2033年度までに再編統合
- ・富士市 5校→3校へ
- ・富士宮市 4校→2校へ

【小笠地区の公立高校再編】

- ・掛川、御前崎、菊川にある公立高校の再編統合を含めた在り方
- ・2028年度までに再検討

【北駿地区の公立高校再編】

- ・御殿場、裾野、小山町にある公立高校4校→2校へ

【政令指定都市】

【大阪市】 令和4年4月に大阪府へ移管(役割分担の明確化: 高校教育は大阪府、義務教育は大阪市)

【札幌市】 市立札幌藻岩高校と市立札幌啓北商業高校を1校に再編 (令和9年4月開校予定)

【福岡市】 市立博多工業高校を学科改編(令和9年度)、市立福岡女子高校を共学化(令和9年度から)

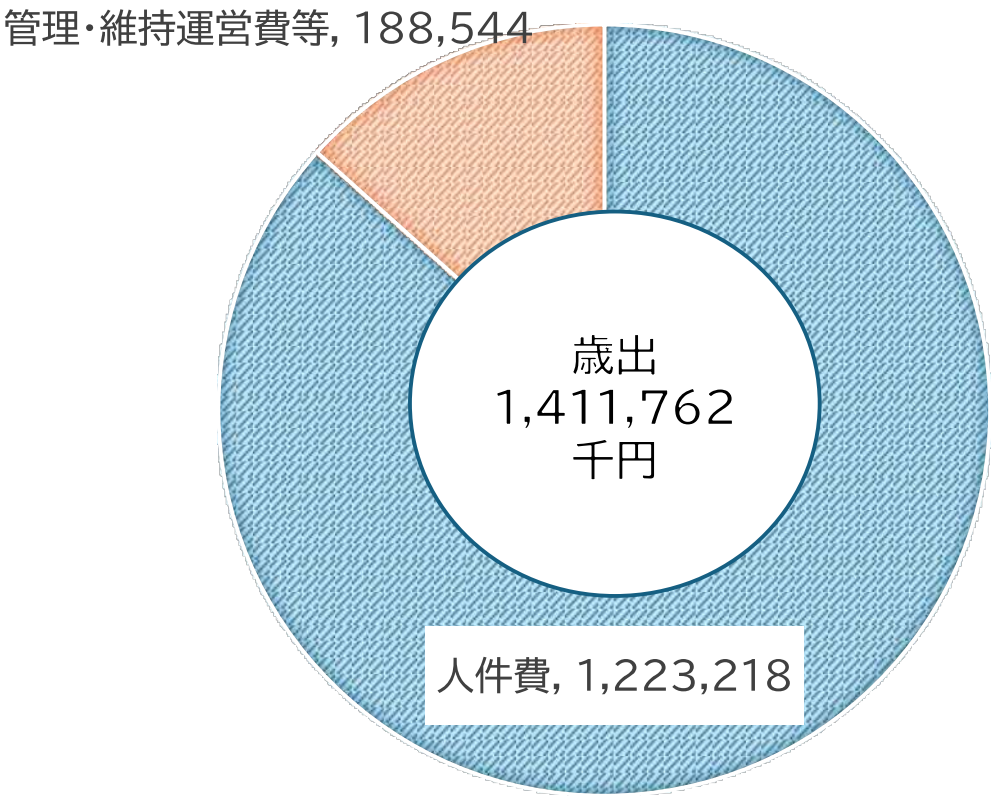
【京都市】 市立塔南高校の施設老朽化に伴い、洛陽工業高校跡地へ移転・再編 (令和5年4月開校)

【北九州市】 所管する1校において、情報ビジネス科と普通科を再編→未来共創科の開設(令和7年度から)

【その他の都市】

【姫路市】 市立3校を1校に再編統合 (令和8年4月)

(千円)



歳出の内訳 (千円)

歳出内訳	静岡市立高校	清水桜が丘高校	合計
人件費	657,346	565,872	1,223,218
管理・維持運営費等	87,523	101,021	188,544
合計	744,869	666,893	1,411,762

【資料7】新しい学校の姿として考えられる類型

新しい高校の姿			年齢										キーワード	メリット	デメリット	必要な準備期間
			13	14	15	16	17	18	19	20	21	22				
これまでの市立高校													・文武両道 ・学科ごとの学び（普通科・〇〇科） ・国公立大学進学（5教科まんべんなく）	・今までどおりの安心感（市民からの共感） ・国公立大学への進学希望のニーズとにマッチ	・県立との差別化が難しい ・学びたい科目が学べない ・進路先が担保されない	
高校の み	類型 1	【高校】 ＜コンセプト＞ 教育課程の工夫により 生徒のやってみたいを叶える											・これまでの2高校の伝統や地域からの期待を大切にする ・単位制高校（学びたい選択科目の充実） ・総合的な探究を週2～3時間（従来は週1時間）	・これまでの高校枠組み（安心感、受け入れやすい） ・単位制による教員定数の増加	・高校再編に関し、市民の共感を得るために時間がかかる。 ・目新しさが他と比べ劣る	【基本】 最短で 5～6年
		【高+（専攻科）】 ＜コンセプト＞ 国内外で活躍する 静岡愛あふれた グローバルリーダーの育成											・国際バカロレア・アントレプレナーシップ教育の導入 ・「静岡の課題×自分の興味・関心」で創造的解決 ・専攻科における産業界や大学等との共創体験	・静岡愛をもった創造的な若者の育成 ・学校と地域社会との一体的な人材育成	・専攻科にない科目を学ぶ場合は自力で大学進学 ・専攻科への進学しない生徒が一定数いることが予想される	7年 程度
		【高専+（専攻科）】 ＜コンセプト＞ 国内外で活躍する 実践的・創造的技術者を育成											・多文化共生型高専（帰国子女や外国籍生徒を積極的に受入） ・脱工業特化型高専（文理融合型の学び） ・静岡ならではの&時代に変化に応じたコース設定	・国内外で即戦力となる技術者の育成 ・公立初の学科にしばらくない高専【私立の事例】 ①国際高専（石川） ②神山まるごと高専（徳島）	・高校入学時にやりたいことは決まっている生徒は少ないため、志願者が少ない可能性 ・就職時や大学院進学時に県外流出	10年 程度
高校＋高等教育機関等	類型 3	【高専+（専攻科）】 ＜コンセプト＞ 国内外で活躍する 実践的・創造的技術者を育成											・7年間の一貫教育で、高校段階から生徒の学びたいをスタート ・大学入試を意識しない教育課程（内部進学による大学進学） ・探究は大学との連携によるゼミ形式	・大学受験を気にしなくていい ・学びたいこと深めたいことを実現	・大学設置の大きな壁、または、既存大学との連携の壁 ・地域の私立大学等との関係	7年 程度
		【高専+（専攻科）】 ＜コンセプト＞ 国内外で活躍する 実践的・創造的技術者を育成											・7年間の一貫教育で、高校段階から生徒の学びたいをスタート ・大学入試を意識しない教育課程（内部進学による大学進学） ・探究は大学との連携によるゼミ形式	・大学受験を気にしなくていい ・学びたいこと深めたいことを実現	・大学設置の大きな壁、または、既存大学との連携の壁 ・地域の私立大学等との関係	7年 程度
		【高専+（専攻科）】 ＜コンセプト＞ 国内外で活躍する 実践的・創造的技術者を育成											・7年間の一貫教育で、高校段階から生徒の学びたいをスタート ・大学入試を意識しない教育課程（内部進学による大学進学） ・探究は大学との連携によるゼミ形式	・大学受験を気にしなくていい ・学びたいこと深めたいことを実現	・大学設置の大きな壁、または、既存大学との連携の壁 ・地域の私立大学等との関係	7年 程度
中学校＋高校	類型 4	【高専+（専攻科）】 ＜コンセプト＞ 国内外で活躍する 実践的・創造的技術者を育成											・7年間の一貫教育で、高校段階から生徒の学びたいをスタート ・大学入試を意識しない教育課程（内部進学による大学進学） ・探究は大学との連携によるゼミ形式	・大学受験を気にしなくていい ・学びたいこと深めたいことを実現	・大学設置の大きな壁、または、既存大学との連携の壁 ・地域の私立大学等との関係	7年 程度
		【高専+（専攻科）】 ＜コンセプト＞ 国内外で活躍する 実践的・創造的技術者を育成											・7年間の一貫教育で、高校段階から生徒の学びたいをスタート ・大学入試を意識しない教育課程（内部進学による大学進学） ・探究は大学との連携によるゼミ形式	・大学受験を気にしなくていい ・学びたいこと深めたいことを実現	・大学設置の大きな壁、または、既存大学との連携の壁 ・地域の私立大学等との関係	7年 程度
		【高専+（専攻科）】 ＜コンセプト＞ 国内外で活躍する 実践的・創造的技術者を育成											・7年間の一貫教育で、高校段階から生徒の学びたいをスタート ・大学入試を意識しない教育課程（内部進学による大学進学） ・探究は大学との連携によるゼミ形式	・大学受験を気にしなくていい ・学びたいこと深めたいことを実現	・大学設置の大きな壁、または、既存大学との連携の壁 ・地域の私立大学等との関係	7年 程度
中学校＋高校	類型 5	【中等教育学校】 ＜コンセプト＞ 自分のやりたいことを見つけ、 深める6年一貫のキャリア教育											・自分のやりたいことを見つけ深める6年間のキャリア形成 ・指定校や推薦による大学進学 ・パートナーの伴走による6年間の探究学習	・中学生や保護者のニーズにマッチ ・出口保証の安心感	・指定校や推薦先の大学は私大のため学費負担が大きい ・大学進学時に県外流出	6年 程度
		【公設民営学校(中高一貫)】 ＜コンセプト＞ 公民のベストマッチで、高い英語力・ 論理的思考力を備えた 未来の静岡の創り手を育成											・公教育の「べき」に抗う ・大学のブランド力・民のスキームを利用 ・大学の講義を受講＋単位認定	・大学の学習内容を先取り ・有名大学への内部進学	・公設民営学校(中高一貫)は、全国で一枚のみ【事例】 大阪府立水都国際中学校・高等学校	6年 程度
		【公設民営学校(中高一貫)】 ＜コンセプト＞ 公民のベストマッチで、高い英語力・ 論理的思考力を備えた 未来の静岡の創り手を育成											・公教育の「べき」に抗う ・大学のブランド力・民のスキームを利用 ・大学の講義を受講＋単位認定	・大学の学習内容を先取り ・有名大学への内部進学	・公設民営学校(中高一貫)は、全国で一枚のみ【事例】 大阪府立水都国際中学校・高等学校	6年 程度
全部（一例）	類型 6	【中・高専+（専攻科）】 ＜コンセプト＞ 中学3年間を研究の土台とし、 国内外で活躍する 実践的・創造的技術者を育成											検討3のキーワードに加え・・・ ・全国初(前例なし)の学校 ・中学時代(高校入学前)に探究基礎＋英語力を育成	・私立と比べ安価な学費で長期にわたり高度な学びをうけることができる ・高専入学後は、研究に専念できる	・中学入学時にやりたいことは決まっている生徒は少ないため、志願者が少ない可能性 ・就職時や大学院進学時に県外流出	前例なしのため、現時点では不明
		【中・高専+（専攻科）】 ＜コンセプト＞ 中学3年間を研究の土台とし、 国内外で活躍する 実践的・創造的技術者を育成											検討3のキーワードに加え・・・ ・全国初(前例なし)の学校 ・中学時代(高校入学前)に探究基礎＋英語力を育成	・私立と比べ安価な学費で長期にわたり高度な学びをうけることができる ・高専入学後は、研究に専念できる	・中学入学時にやりたいことは決まっている生徒は少ないため、志願者が少ない可能性 ・就職時や大学院進学時に県外流出	前例なしのため、現時点では不明
		【中・高専+（専攻科）】 ＜コンセプト＞ 中学3年間を研究の土台とし、 国内外で活躍する 実践的・創造的技術者を育成											検討3のキーワードに加え・・・ ・全国初(前例なし)の学校 ・中学時代(高校入学前)に探究基礎＋英語力を育成	・私立と比べ安価な学費で長期にわたり高度な学びをうけることができる ・高専入学後は、研究に専念できる	・中学入学時にやりたいことは決まっている生徒は少ないため、志願者が少ない可能性 ・就職時や大学院進学時に県外流出	前例なしのため、現時点では不明



社会の発展に寄与する 未来の静岡の創り手を育成します



SSH12年の市高ならではの

具体的には

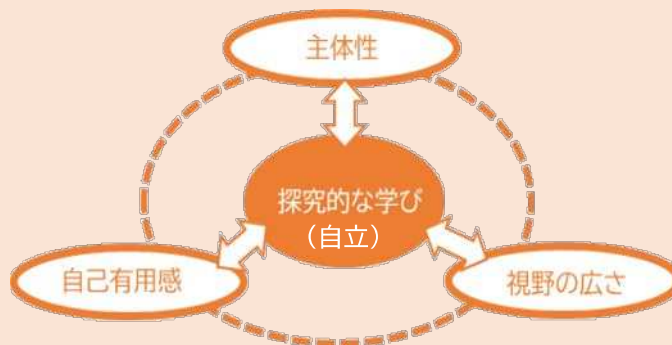
「市高科学教育プログラム(Ichiko Science Education Program, 通称ISEP)の開発を通じて、
科学的リテラシーをもって解決困難な課題に立ち向かうことができる生徒を育てています。

①主体的に課題に取り組むことができる生徒の育成

- 与えられた課題ではなく、自分で課題を見つけ、そのアプローチを考え課題解決を進める取組を実践しています。
- 探究的な学びのプロセスを徹底して身に付けることで、探究学習だけでなく、社会課題や日常における課題にも対応する力を身に付けます。

【R6の取組:普通科】

考察における課題を踏まえ、
市高版「論証の型」「推論の型」
「相互評価活動」の
開発・試行



【R6の取組:科探科】

国内外の学習者との共同研究
と協働学習を推進する
「ISEP生徒共同研究」の
開発・試行

②自己を肯定的にとらえることができる生徒の育成

- 令和6年度は、市高版「相互評価活動」を試行し、効果検証しました。
- 相互評価活動を行うことで、自己の学びの長所や改善点を客観的に把握し、探究を通じて成長することができています。

③国際社会で活躍・貢献できる生徒の育成

- 台湾の高校生等との研究交流で、異なる視点による問題解決のアプローチやアイデアを学んでいます。
- 異文化交流で、柔軟な思考力や自分の意見を明確に伝える力を磨いています。

生徒ファーストで、未来の静岡の創り手を育成します

DXによる個別最適な学び

○現時点での自分の学習状況と
次にとるべき手立てが分かる、振り返りの充実した授業

スモール・ステップ

単元テスト
ロイロノート

DX
学習評価

中・長期の学習定着

学びの基礎診断
Classi（学トレ）

○体育の持久走で、ウェアラブル端末からの走行データを基に
「分析、可視化、振り返り、実技」のスパイラルで個別最適化



個別最適化のエッセンスを他教科に横展開

デジタル情報発信力を備えたアントレプレナーの育成

○将来、民間企業への就労や起業家として地域社会に貢献する、
成長マインドセットを持ったデジタル人材を育成

●**専門学校との連携**により、データサイエンス等のデジタル活用技能を学習

標準

個別テーマ探究で、ウェアラブル端末、動作解析アプリを活用、
学習の個性化と**データ分析、企画・提案力**の育成を実現

発展

普・商共選択科目で**地元企業と地域の魅力化**に挑戦

○学習の成果は、リニューアルした先進的なHPからWeb発信

●**Webデザイナー**が講師となり、**トレンドのデザイン**等を体験的に学習

生徒の声を出発点に、生徒と教員の協働による学校づくり

○他者への配慮を軸にした学校づくりへの参画による**人権意識**の醸成

- 文化祭、体育祭等の学校行事、ジェンダーレス制服、校則等の見直し
- 生徒自身による福利厚生の見直し（お弁当配達アプリ導入）

Win-Winの持続可能な外部連携



学校法人静岡理工科大学
静岡産業技術専門学校



○連携協定締結
ODXハイスクール



○普・商
探究的な学び
○学校運営協議会



せいしん
静岡信用金庫

ブランディング（SEIOH）



SHIMIZU
SAKURAGAOKA
HIGHSCHOOL



○先進的な清水桜が丘のイメージ

- ・生徒ファースト
- ・個別最適な学び
- ・DXハイスクール
- ・好きなことを諦めないで学べる
（1日6時間×5日の教育課程）
- ・教員のゆとりを生徒に還元

広報戦略（新学校HP・SNS等）

キラキラした学校生活を発信

○ターゲット

- ・中学生
- ・保護者



○クロスメディア

- ・学校HP New！
- ・X（エックス）
- ・Instagram
- ・クチコミ
- ・各種広報誌



学校HP



学校案内2026

心理的安全性の高い学校（生徒・教員）

○人権意識の感度が高い学校

- ・テスト等でランキングの廃止
- ・他者への配慮を軸とした
学校づくりへの参画
- ・生徒-教員の相互承認の人間関係

○心理的安全性の高い環境で
成長マインドセットを育成

- ・話しやすさ 何を言っても大丈夫
- ・助け合い 困った時はお互い様
- ・挑戦 とりあえずやってみよう
- ・新奇歓迎 異能どんとこい